二宮町第2次環境基本計画後期実施計画
（令和２年度進捗状況一覧）

進捗状況一覧における「評価」欄の見方について

○数値目標における達成状況を評価

○各年度の目標値

○目標値に対する 実績値

○目標値に対する実績値の達成率

達成状況評価				評価割合(100)	
R01 目標値	R02 目標値	R03 目標値	R04 目標値	達成状況 評価	事業内容 評価
350,000人	350,000人	350,000人	350,000人	75	25
R01 実績値	R02 実績値	R03 実績値	R04 実績値	×	×
426,860人				事業 達成率	事業内容 達成率
R01 事業達成率	R02 事業達成率	R03 事業達成率	R04 事業達成率	100%	100%
100%				達成状況 評価(A)	事業内容 評価(B)
事業内容評価				75%	25%
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価	総合評価(A)＋(B)	
100%				100%	A

○事業ごとに事業達成率と事業内容評価の評価割合を次の3パターンで配分
《評価割合》
①75:25
②50:50
③25:75

○事業内容における達成状況を評価するもので、事業内容を次の5項目に分け、達成できた項目数の割合
《事業内容評価項目》

①	基本理念の達成に貢献しているか	20%
②	事業の性質(推進型、促進型等)をとらえているか	20%
③	事業を成功させるための工夫がなされているか	20%
④	事業が費用対効果を考慮しているか	20%
⑤	事業結果を踏まえた改善がなされているか	20%
	（合計）	100%

○標記事業の場合…
75(達成状況評価割合)×100%(事業達成率)＝75%(達成状況評価(A))

25(事業内容評価割合)×100%(事業内容評価)＝25%(事業内容評価(B))

【総合評価(A)＋(B)】＝【達成状況評価(A):75%】＋【事業内容評価(B):25%】＝100%⇒【A】
○評価指標
【達成率: 100%】 A
【達成率:75-99%】 B
【達成率:50-74%】 C
【達成率:25-49%】 D
【達成率: 0-24%】 E
【新型コロナウイルスの影響あり】 ―

No.	基本施策	取組み事業等	事業内容	担当課	R02事業計画	R02事業実績	数値指標
1	1-1 吾妻山の保全と魅力の向上	①公園等維持管理運営事業	自然環境の保全と観光拠点としての調和を図るため、施設や設備を充実させるための整備を行うとともに、動植物の生息状況に応じた公園管理を行う。	都市部都市整備課	・里山保全のため、園内の樹木等の維持管理作業を実施する。	・新型コロナウイルスの感染拡大により、来園者数は減って322,466であった。 ・シルバー人材センターによる園内の樹木等の維持管理を適切に実施した。	・来園者数
2	1-2 丘陵地や谷戸などの保全	①里山再生育成事業	里山の保全育成を図るとともに、災害による被害抑制につなげるため、身近な里山の手入れや間伐材の再利用を通して、ボランティアによる里山体験を促進する。	都市部産業振興課	・新型コロナウイルス感染症の状況を見極めつつ、各種事業の実施を検討するとともに、体験学習用地の維持管理を行う。	・各種事業（体験学習・教室）は、いずれも新型コロナウイルスの感染拡大に伴い中止となったが、体験学習用地の維持管理（田植え・稲刈り）に努め、希望のあった幼稚園等に苗や収穫物の配布を行い、事業の代替とした。	・事業参加者数
3	1-2 丘陵地や谷戸などの保全	②土地改良事業（農道整備）	農地の保全と地域農業の活性化を図るため、農道を整備する際にのり面の植生の回復を図るなど、自然環境に配慮した仕様を検討した上で、整備及び維持管理する。	都市部産業振興課	・近年、増加している大雨対策のための改良及び農道法面の崩落防止の修繕の実施により、里山保全へも配慮した取り組みを行う。	・町内の農道６ヶ所、農道護岸１ヶ所を整備した。 ・一色地内（兎沢）農道護岸整備工事にあたっては、護岸の巨木を残すとともに、路面排水ののり面への流入を防止する工法を選択することで自然環境に配慮した。	・農道の整備・改良、修繕件数
4	1-2 丘陵地や谷戸などの保全	③ふれあい農園事業	農地の荒廃化防止のため、町が借りた農地を「特定農地貸付けに関する農地法等の特例に関する法律」に基づき農業委員会の承認を受けた上で、「二宮町ふれあい農園事業実施要綱」により、町民へ貸出しを行う。（1区画20㎡、作付は野菜と草花）	都市部産業振興課	・耕作状況を把握し、利用していない場合には速やかに利用希望待機者へ貸し出せるよう管理を行うことで農園の適正な維持管理に努めるとともに、栽培講習会の開催を通じ、周辺環境に配慮した耕作を促す。	・農園の適正な維持管理に努め、全区画を利用者に貸し出した。 ・栽培講習会は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い中止となったが、継続意向確認と併せ、共有部分の草刈等を促す通知を同封し、代替とした。	・区画数

評価						課題	対応	R03事業計画
達成状況評価				評価割合(100)		・シバザクラ園の維持管理は、公園スタッフ及び町民ボランティアで行っていたが、令和元年度からボランティアによる活動を休止としていることから、人手が不足し、シバザクラを良好に育てることが困難となっている。	・シバザクラの良好な生育のためには手間もかかることから、持続可能な維持管理をするため、長期的に花木などが楽しめるよう、花木の植替え等について検討を行っていく。	・新型コロナウイルスの感染拡大防止を意識しながら、里山保全のため、園内の樹木等の維持管理作業を実施する。
R01 目標値	R02 目標値	R03 目標値	R04 目標値	達成状況評価	事業内容評価			
350,000人	350,000人	350,000人	350,000人	75	25			
R01 実績値	R02 実績値	R03 実績値	R04 実績値	×	×			
426,860人	322,466人			事業達成率	事業内容達成率			
R01 事業達成率	R02 事業達成率	R03 事業達成率	R04 事業達成率	92%	100%			
100%	92%			達成状況評価(A)	事業内容評価(B)			
事業内容評価				69%	25%			
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価	総合評価(A)＋(B) コロナの影響あり				
100%	100%			94%	―			
達成状況評価				評価割合(100)		・現在行っている事業が様々な要因で中止となった際に、代替事業等がないことが課題である。	・代替事業として里山の保全育成事業等の実施を活動団体と検討する。	・田植え体験学習、稲刈り体験学習、椎茸植菌教室の開催、及び関連団体との情報交換等により里山保全の意識を高める。
R01 目標値	R02 目標値	R03 目標値	R04 目標値	達成状況評価	事業内容評価			
240人	240人	240人	240人	50	50			
R01 実績値	R02 実績値	R03 実績値	R04 実績値	×	×			
110人	0人			事業達成率	事業内容達成率			
R01 事業達成率	R02 事業達成率	R03 事業達成率	R04 事業達成率	0%	100%			
46%	0%			達成状況評価(A)	事業内容評価(B)			
事業内容評価				0%	50%			
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価	総合評価(A)＋(B) コロナの影響あり				
100%	100%			50%	―			
達成状況評価				評価割合(100)		・毎年、修繕を要する損傷は町内各所の農道で発見されていることに加え、緊急性を持って対処する必要もあることから、全ての箇所で環境に配慮した施工を選択することは困難である。 ・損傷が大きく大掛かりな修繕となった場合、周辺環境に与える影響が大きくなる。	・損傷が小さいうちに早期発見、対処することで、修繕を小規模化するとともに、大規模な修繕や整備・改良にあたっては、自然環境に配慮した工法を選択できるよう計画的な管理を行う。	・近年、増加している大雨対策のための改良、及び農道のり面の崩落防止の修繕の実施により、里山保全へも配慮した取り組みを行う。
R01 目標値	R02 目標値	R03 目標値	R04 目標値	達成状況評価	事業内容評価			
5件	5件	5件	5件	50	50			
R01 実績値	R02 実績値	R03 実績値	R04 実績値	×	×			
7件	7件			事業達成率	事業内容達成率			
R01 事業達成率	R02 事業達成率	R03 事業達成率	R04 事業達成率	100%	100%			
100%	100%			達成状況評価(A)	事業内容評価(B)			
事業内容評価				50%	50%			
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価	総合評価(A)＋(B)				
80%	100%			100%	A			
達成状況評価				評価割合(100)		・農園内の共有部分の一部において、管理できていないところがある。	・農園内の共有部分の草刈を定期的に行うとともに、栽培講習会の開催や継続意向確認の際に、適正な維持管理を利用者に促す。	・農地の荒廃化防止の一助となるようふれあい農園の適正な維持管理をするとともに、利用者による適正な維持管理についても促進する。
R01 目標値	R02 目標値	R03 目標値	R04 目標値	達成状況評価	事業内容評価			
106区画	106区画	106区画	106区画	75	25			
R01 実績値	R02 実績値	R03 実績値	R04 実績値	×	×			
104区画	106区画			事業達成率	事業内容達成率			
R01 事業達成率	R02 事業達成率	R03 事業達成率	R04 事業達成率	100%	100%			
98%	100%			達成状況評価(A)	事業内容評価(B)			
事業内容評価				75%	25%			
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価	総合評価(A)＋(B)				
100%	100%			100%	A			

No.	基本施策	取組み事業等	事業内容	担当課	R02事業計画	R02事業実績	数値指標
5	1-2 丘陵地や谷戸などの保全	④遊休・荒廃農地対策事業	農業の担い手不足により増加している遊休・荒廃農地の解消と農地の保全のため、新規就農者や販売を視野に入れた本格的な農業い取組む「かながわ農業サポーター」など、新たな担い手の受け入れを積極的に行う。	農業委員会事務局	・農地の利用状況調査を実施し、農地の有効利用を図る。 ・遊休・荒廃農地の解消を図るため、農地の利活用を予定している者に対して再生に伴う経費を補助し、農業の再生に取り組んでいく。	・農地の利用状況調査結果を基に遊休地の所有者に対し、農地中間管理機構の活用を促した。 ・事業者にとって二宮町遊休荒廃農地対策事業補助金が利用しやすいものとなるよう、要件緩和や補助率等を見直し(要綱改正)、補助金のPRに努めた。	・遊休・荒廃農地の解消面積
6	1-2 丘陵地や谷戸などの保全	⑤緑の基本計画の推進	緑地率を30%、公園等整備面積43haを目標とする「緑の基本計画」を推進するため、指定区域内の山林等所有者への自然保護奨励金の交付（県事業）や「二宮町緑の保全及び緑化の推進に関する要綱」に基づく保存樹木の指定により松等の緑の保全に努める。	都市部都市整備課	・県と連携し、保安林等所有者に自然環境（里山）の保全の推進を図る。 ・保存樹木の指定及び保全に努める。	・自然保護奨励金の対象は、山林等対象件数4件、対象面積87,484㎡で、昨年度と同数となり、里山の保全に繋がった。 ・保存樹木の対象件数は、対象件数18件、対象本数155本(マツ・ケヤキ・サクラ等)で、昨年度と同数となり、樹木の保存に繋がった。	・自然保護奨励金制度の対象面積 ・良好な生活環境の確保及び美観風致を維持するための補助本数
7	1-2 丘陵地や谷戸などの保全	⑥二宮せせらぎ公園におけるホタル観賞会の実施	ホタルの生態を知ることを通じ、水辺等の自然環境の保全に対する理解を得るため、二宮せせらぎ公園におけるホタルの観賞会を実施する。	都市部都市整備課	・園内の維持管理作業に農薬等を使用せず、ホタルが生息できる環境を維持する。 ・ホタル観賞会を実施する。	・令和2年度のホタル観賞会は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い中止とした。	・ホタル出現数
8	1-3 水と親しめる葛川の再生	①公共下水道整備事業	公共下水道処理区域の一層の拡大を図るため、年次毎に効率的な汚水枝線の整備工事を実施する。	都市部下水道課	・翌年度の供用区域拡大に向け、事業計画区域内の下水道未普及地区で枝線工事を実施する。 ・山西（釜野）地区、中里地区、二宮（北新道）地区で整備を行う。	・約0.9㎞の汚水管を整備した。令和3年4月の供用区域が3.5ha増加した。	・整備面積

評価						課題	対応	R03事業計画
達成状況評価				評価割合(100)		・二宮町遊休荒廃農地対策事業補助金の活用がなされず、遊休荒廃農地の解消が図られないことが課題である。	・改正した補助金制度のPR等により、遊休荒廃農地の解消を促進する。	・遊休荒廃農地の解消を図るため、中間管理機構等を活用し、新規就農者や経営規模拡大の意向がある農業者への更なる利用集積を推進する。 ・二宮町遊休荒廃農地対策事業補助金の活用により解消を支援する。
R01 目標値	R02 目標値	R03 目標値	R04 目標値	達成状況評価	事業内容評価			
0.4ha/年	0.4ha/年	0.4ha/年	0.4ha/年	50	50			
R01 実績値	R02 実績値	R03 実績値	R04 実績値	×	×			
0.28ha/年	0.00ha/年			事業達成率	事業内容達成率			
R01 事業達成率	R02 事業達成率	R03 事業達成率	R04 事業達成率	0%	100%			
70%	0%			達成状況評価(A)	事業内容評価(B)			
事業内容評価				0%	50%			
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価	総合評価(A)＋(B)				
100%	100%			50%	C			
達成状況評価				評価割合(100)		・里山の所有者の高齢化が進み、適正な維持管理が継続できなくなることが危惧されるとともに、保存樹木については、土地利用の変更や樹木の老木化等により、減少することが予想される。	・里山や保存樹木の所有者に対し、次世代に自然環境を維持管理する技術の継承や、必要性を理解してもらえるような啓発にも努めていく。	・県と連携し、保安林等所有者に自然環境（里山）の保全の推進を図る。 ・保存樹木の指定及び保全に努める。
R01 目標値	R02 目標値	R03 目標値	R04 目標値	達成状況評価	事業内容評価			
80,000㎡ 179本	80,000㎡ 179本	80,000㎡ 179本	80,000㎡ 179本	75	25			
R01 実績値	R02 実績値	R03 実績値	R04 実績値	×	×			
87,484㎡ 155本	87,484㎡ 155本			事業達成率	事業内容達成率			
R01 事業達成率	R02 事業達成率	R03 事業達成率	R04 事業達成率	93%	80%			
93%	93%			達成状況評価(A)	事業内容評価(B)			
事業内容評価				70%	20%			
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価	総合評価(A)＋(B)				
80%	80%			90%	B			
達成状況評価				評価割合(100)		・今後も現状の維持管理形態を保持していくことが大事だが、今までになかった被害（花の病気やイノシシ等）も出ている。	・現状の維持管理形態を保持しつつ、新しい手法についても検討し、積極的に取り入れる。	・イノシシ被害対策として、公園外周にフェンス設置工事を行い、外からの侵入防止を図る。
R01 目標値	R02 目標値	R03 目標値	R04 目標値	達成状況評価	事業内容評価			
1,500頭	1,500頭	1,500頭	1,500頭	50	50			
R01 実績値	R02 実績値	R03 実績値	R04 実績値	×	×			
433頭	490頭			事業達成率	事業内容達成率			
R01 事業達成率	R02 事業達成率	R03 事業達成率	R04 事業達成率	33%	40%			
29%	33%			達成状況評価(A)	事業内容評価(B)			
事業内容評価				16%	20%			
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価	総合評価(A)＋(B) コロナの影響あり				
80%	40%			36%	ー			
達成状況評価				評価割合(100)		・下水道の整備率は事業計画区域の92.2%となり、残りの未整備の箇所については、工事実施の制約、施工管理の困難性、あるいは整備に際して沿線住民の申請を伴う私道が多いことが挙げられる。	・工事の実施に際しては、地域、請負業者、関係機関との調整を図って施工する。	・翌年度の供用に向け、事業計画区域内の下水道未普及地区で枝線工事を実施する。 ・山西（釜野）地区、中里地区、富士見が丘地区で整備を行う。
R01 目標値	R02 目標値	R03 目標値	R04 目標値	達成状況評価	事業内容評価			
410ha	418ha	425ha	432ha	75	25			
R01 実績値	R02 実績値	R03 実績値	R04 実績値	×	×			
410ha	414ha			事業達成率	事業内容達成率			
R01 事業達成率	R02 事業達成率	R03 事業達成率	R04 事業達成率	99%	100%			
100%	99%			達成状況評価(A)	事業内容評価(B)			
事業内容評価				74%	25%			
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価	総合評価(A)＋(B)				
100%	100%			99%	B			

No.	基本施策	取組み事業等	事業内容	担当課	R02事業計画	R02事業実績	数値指標
9	1-3 水と親しめる葛川の再生	②下水道の普及促進	下水道への早期接続を図るため、排水設備設置に係る水洗化改造等奨励金支給、水洗化融資あっせん利子補給、下水道や汚水処理に関する情報発信による啓発を実施する。	都市部下水道課	・水洗化奨励金支給や融資あっせん利子補給を実施する。 ・未接続世帯へ接続案内の戸別配布などによる勧奨を実施する。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、下水道接続PRをする予定であったイベント等は中止になってしまったが、広報紙等による啓発を行う。 ※水洗化率＝接続済人口/処理区域内人口	・水洗化奨励金は121件（2,740千円）、利子補給は5人(約9千円)であった。 ・供用3年以内の区域やその周辺を中心に未接続家屋へ接続案内を配布した。(戸別317件)・広報紙に接続啓発記事の掲載した。 ・水洗化率は接続済人口÷処理区域内人口で求めた。 (令和2年)20,450/25,260=81.0% (令和元年)19,880/25,210=78.9% (平成30年)19,320/25,170=76.8%	・水洗化率
10	1-3 水と親しめる葛川の再生	③家畜環境整備対策事業	衛生的な家畜の飼養環境整備を図るため、家畜用浄化槽の整備、修繕に対する補助を行うとともに衛生管理等の薬品を配布する。	都市部産業振興課	・畜産会との連携により、浄化槽消毒薬品配布及び環境整備指導を実施し、畜産経営における周辺環境へ配慮する意識を高める。	・家畜用浄化槽からの放流水質を適正に保つための消毒薬品を配布するとともに、畜舎、糞処理施設の臭気検査及び浄化槽の水質検査を実施し、衛生的な家畜の飼養環境整備に努めた。	・環境整備指導件数 ※農家が１件なくなったため、R02から目標値を３件に変更
11	1-3 水と親しめる葛川の再生	④葛川水質調査の実施	家庭・事業所等の排水による河川の水質実態を把握するため、町内河川の水質を調査するとともに水質汚濁を未然に防止するため、さまざまな広報媒体を通じて調査結果を情報提供する。	都市部生活環境課	・水質測定を実施する。 ・水質測定結果をホームページで公表する。	・水質測定（6地点×年4回）を実施した。 全24検体のうち、1検体が環境基準を超過した。 （第４回調査の一色橋のＢＯＤ） ・水質測定結果をホームページで公表し、河川の水質状況を町民へ周知した。 ※実績値根拠：96％＝23検体÷24検体	・測定地点数に対する測定値が環境基準値内の地点数割合
12	1-3 水と親しめる葛川の再生	⑤葛川美化推進事業	葛川にごみを捨てにくい環境づくりをめざすため、ボランティア団体や県等と連携し、ごみの回収や水生生物の生息確認等を実施するとともに、清掃を行っている団体の活動や葛川の魅力発信を行う。	都市部生活環境課	・葛川の水生生物を調査する。	・葛川の水生生物の生息調査が実施された。（葛川をきれいにする会で実施） ・全国水生生物調査の指標生物のうち、水質階級Ｉにあたる生物を３種類確認した。	・水質階級Ｉにあたる指標生物種類数

評価						課題	対応	R03事業計画
達成状況評価				評価割合(100)		・事業の特性上、指標となる接続率の短期での大幅な伸びは難しいので、継続した啓発活動が必要である。 ・供用から年数が経っている地区の未接続家屋等へ接続勧奨をする必要がある。	・広報紙への記事掲載を実施する。 ・接続案内配布による啓発活動は、供用年数が浅い区域だけでなく、供用区域全体の未接続家屋等への啓発を目標に実施する。	・水洗化奨励金支給や融資あっせん利子補給を実施する。 ・未接続世帯へ接続案内の戸別配布などによる勧奨を実施する。 ・イベント(ふるさとまつり)の開催時は(公財)県下水道公社と合同で下水道接続PRや、広報紙等による積極的な啓発を行う。 ※水洗化率＝接続済人口/処理区域内人口
R01 目標値	R02 目標値	R03 目標値	R04 目標値	達成状況評価	事業内容評価			
77%	78%	79%	80%	75	25			
R01 実績値	R02 実績値	R03 実績値	R04 実績値	×	×			
79%	81%			事業達成率	事業内容達成率			
R01 事業達成率	R02 事業達成率	R03 事業達成率	R04 事業達成率	100%	100%			
100%	100%			達成状況評価(A)	事業内容評価(B)			
事業内容評価				75%	25%			
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価	総合評価(A)＋(B)				
100%	100%			100%	A			
達成状況評価				評価割合(100)		・各施設の老朽化により設備の一部に修繕が必要である。	・設備更新にあたり町の「畜産環境整備対策事業補助金」の活用を促進するとともに、修繕に必要な予算の確保に努める。	・家畜用浄化槽からの放流水質を適正に保つための消毒薬品を配布するとともに、畜舎、糞処理施設の臭気検査及び浄化槽の水質検査を実施し、衛生的な家畜の飼養環境整備に努める。
R01 目標値	R02 目標値	R03 目標値	R04 目標値	達成状況評価	事業内容評価			
4件	4件	4件	4件	25	75			
R01 実績値	R02 実績値	R03 実績値	R04 実績値	×	×			
3件	3件			事業達成率	事業内容達成率			
R01 事業達成率	R02 事業達成率	R03 事業達成率	R04 事業達成率	100%	100%			
75%	100%			達成状況評価(A)	事業内容評価(B)			
事業内容評価				25%	75%			
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価	総合評価(A)＋(B)				
100%	100%			100%	A			
達成状況評価				評価割合(100)		・公共下水道への接続勧奨や合併処理浄化槽への設置補助を行い、排水が適正に処理されるよう努めていく必要がある。 ・合併処理浄化槽への設置補助について、転換分の申請件数が少ないため、転換を促進する効果的な啓発が必要である。	・河川水質調査を継続して実施することにより、河川の水質状況を把握するとともに公共下水道への接続勧奨や合併処理浄化槽への設置補助を行い、排水が適正に処理されるよう努める。 ・合併処理浄化槽への設置補助について、転換分の申請件数が増えるよう、宅内配管工事費についても新たに補助対象とする。	・水質測定を実施する。 ・水質測定結果をホームページで公表する。 ・公共下水道への接続勧奨を効果的に行っていくため、関係各課と連携し、公共下水道の整備による河川水質の改善効果について啓発を行う。また、水質が悪化してしまう原因などについても併せて周知する。
R01 目標値	R02 目標値	R03 目標値	R04 目標値	達成状況評価	事業内容評価			
100%	100%	100%	100%	75	25			
R01 実績値	R02 実績値	R03 実績値	R04 実績値	×	×			
89%	96%			事業達成率	事業内容達成率			
R01 事業達成率	R02 事業達成率	R03 事業達成率	R04 事業達成率	96%	80%			
89%	96%			達成状況評価(A)	事業内容評価(B)			
事業内容評価				72%	20%			
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価	総合評価(A)＋(B)				
80%	80%			92%	B			
達成状況評価				評価割合(100)		・道端などにポイ捨てされたごみは、まちの景観を損ねるだけでなく、雨風によって、河川に流れ込んでしまうため、河川水質に悪影響を与え、水生生物が生息しづらい環境を作り出す一因になっている。	・葛川をきれいにする会の清掃活動を支援するため、河川ごみの回収を行うとともに、ポイ捨て防止に関する啓発を実施する。	・葛川の水生生物を調査する。(葛川をきれいにする会で実施) ・葛川をきれいにする会の清掃活動を支援するため、河川ごみの回収を行う。 ・葛川をきれいにする会の活動について、広報紙やホームページで広く啓発を実施するとともに、環境団体と連携して、葛川に親しめるイベントを開催する。
R01 目標値	R02 目標値	R03 目標値	R04 目標値	達成状況評価	事業内容評価			
3種以上	3種以上	3種以上	3種以上	50	50			
R01 実績値	R02 実績値	R03 実績値	R04 実績値	×	×			
4種	3種			事業達成率	事業内容達成率			
R01 事業達成率	R02 事業達成率	R03 事業達成率	R04 事業達成率	100%	100%			
100%	100%			達成状況評価(A)	事業内容評価(B)			
事業内容評価				50%	50%			
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価	総合評価(A)＋(B)				
80%	100%			100%	A			

No.	基本施策	取組み事業等	事業内容	担当課	R02事業計画	R02事業実績	数値指標
13	1-3 水と親しめる葛川の再生	⑥水資源に関する教育	水資源への関心を高めるため、水資源についての教育を学校等の学びの場で行う。	教育委員会 教育総務課	・水資源への関心を高めるため、水資源についての教育をダムの見学（遠足）や学習の場で行う。	・ダムの見学は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い中止したが、日常生活において、学校や家などで飲んだり使用している水が、「どこからきて、どこへ行くのか」という水の循環のしくみを学んだ。 ・令和２年度は昨年度と比較し、８割程度の授業数となったため、事業達成率を80%とした。	・実施予定回数に対する環境教育実施回数割合
14	1-4 二宮海岸の保全と魅力の向上	①海岸保全対策事業	海岸の保全を図るため、漁港区域内外において養浜工事を実施する。	都市部 産業振興課 ・　都市部 都市整備課	・県と沿岸市町共同で国に対して砂浜の早期回復等の要望を実施する。 ・漁港区域の養浜工事を実施する。	・漁港区域内の養浜工事を実施した。	・要望回数 ・実養浜量/計画養浜量
15	1-4 二宮海岸の保全と魅力の向上	②海岸清掃(かながわ海岸美化財団)の実施	海岸の保全を図るため、公益財団法人かながわ海岸美化財団の活動と連携し、海岸清掃によりごみを回収する。	都市部 生活環境課	・海岸美化活動を行う美化財団に負担金を支出することで海岸の保全を図る。 ・県及び沿岸13市町と連携し、国補助金確保のための要望活動を行う。	・海岸美化活動を行う美化財団に負担金を支出することで海岸の保全を図った。 ・県及び沿岸13市町と連携し、国補助金の確保のため、要望活動を行った。 ・美化財団による海岸清掃が69回行われ、13tの海岸ごみが回収された。	・美化財団海岸ごみ回収量
16	1-4 二宮海岸の保全と魅力の向上	③釣り客、地引網等のごみの持ち帰りのマナー向上	海岸の保全を図るため、漁港区域の管理において、海岸利用客へ啓発看板を設置するとともに、誘発防止のため海岸来場者数が増加する時期に担当課職員による海岸清掃を行う。	都市部 産業振興課	・美化意識の高揚を図るため、漁港区域の管理において、海岸利用客へ啓発看板を設置する。	・漁港区域内に海岸利用者への啓発看板を設置するとともに、漁港区域の見回りに際し、海岸利用者への啓発を行ったほか、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う入口フェンスの閉鎖と併せ、周辺に看板を設置した。	・清掃回数

評価						課題	対応	R03事業計画
達成状況評価				評価割合(100)		・ダムの必要性と併せて、近年のダムの弊害についても学習に取り入れていくことが必要である。 ・単元で学習する水資源のほか、総合学習などで二宮について取り組む際などに、葛川についてふれる機会をつくる必要がある。	・ダムについては、水を溜める働きをする一方で、（緊急）放流することで起こりうる危険についても、防災教育の観点から学習できるよう取り組んでいく。 ・身近な水資源について、今後も学習に取り入れていく。	・水資源への関心を高めるため、水資源についての教育をダムの見学（遠足）や学習の場で行う。
R01 目標値	R02 目標値	R03 目標値	R04 目標値	達成状況評価	事業内容評価			
100%	100%	100%	100%	50	50			
R01 実績値	R02 実績値	R03 実績値	R04 実績値	×	×			
100%	80%			事業達成率	事業内容達成率			
R01 事業達成率	R02 事業達成率	R03 事業達成率	R04 事業達成率	80%	100%			
100%	80%			達成状況評価(A)	事業内容評価(B)			
事業内容評価				40%	50%			
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価	総合評価(A)＋(B)				
100%	100%			90%	B			
達成状況評価				評価割合(100)		・安定的に養浜の土砂を確保できないことが課題である。	・漁港区域内の浚渫土砂を確保できない場合には、海岸保全に影響のない土砂の確保を行う。	・漁港区域内の養浜工事を実施する。
R01 目標値	R02 目標値	R03 目標値	R04 目標値	達成状況評価	事業内容評価			
1回 100%	1回 100%	1回 100%	1回 100%	25	75			
R01 実績値	R02 実績値	R03 実績値	R04 実績値	×	×			
1回 100%	1回 100%			事業達成率	事業内容達成率			
R01 事業達成率	R02 事業達成率	R03 事業達成率	R04 事業達成率	100%	100%			
100%	100%			達成状況評価(A)	事業内容評価(B)			
事業内容評価				25%	75%			
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価	総合評価(A)＋(B)				
100%	100%			100%	A			
達成状況評価				評価割合(100)		・ポイ捨てや不法投棄されたごみが雨風等により河川に流れ込み、海へ流れ着いてしまうため、海岸沿岸部の河川下流部の地域だけでなく、河川上流部の地域も含めた協力が必要である。	・ボランティア団体により、定期的に河川清掃活動が実施されており、町も清掃ごみの回収作業を支援する等、ごみが海に流れ込むことを阻止するための水際対策を行う。 ・海岸美化を推進するため、かながわ海岸美化財団に負担金を支出し、定期的に海岸清掃を実施する。	・海岸美化活動を行う美化財団に負担金を支出することで海岸の保全を図る。 ・県及び沿岸13市町と連携し、国補助金確保のための要望活動を行う。
R01 目標値	R02 目標値	R03 目標値	R04 目標値	達成状況評価	事業内容評価			
22t	22t	22t	22t	50	50			
R01 実績値	R02 実績値	R03 実績値	R04 実績値	×	×			
9t	13t			事業達成率	事業内容達成率			
R01 事業達成率	R02 事業達成率	R03 事業達成率	R04 事業達成率	100%	80%			
100%	100%			達成状況評価(A)	事業内容評価(B)			
事業内容評価				50%	40%			
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価	総合評価(A)＋(B)				
80%	80%			90%	B			
達成状況評価				評価割合(100)		・漁港区域内に啓発看板を設置しているが、ごみの置き去りが後を絶たない状況である。	・啓発看板の設置個所や啓発内容を工夫し、海岸利用者のごみの持帰りを促す。	・新型コロナウイルスの感染拡大に伴い海岸のフェンスの閉鎖を行い、バーベキュー等の自粛について啓発していくとともに、ごみの持ち帰りについて、声掛けや看板(ポスター)の設置を行うことで、維持管理に努める。
R01 目標値	R02 目標値	R03 目標値	R04 目標値	達成状況評価	事業内容評価			
10回	10回	10回	10回	25	75			
R01 実績値	R02 実績値	R03 実績値	R04 実績値	×	×			
10回	11回			事業達成率	事業内容達成率			
R01 事業達成率	R02 事業達成率	R03 事業達成率	R04 事業達成率	100%	100%			
100%	100%			達成状況評価(A)	事業内容評価(B)			
事業内容評価				25%	75%			
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価	総合評価(A)＋(B)				
100%	100%			100%	A			

No.	基本施策	取組み事業等	事業内容	担当課	R02事業計画	R02事業実績	数値指標
17	1-4 二宮海岸の保全と魅力の向上	④湘南にのみや海岸530キャンペーンの実施	海岸の保全の気運を高めるため、町民、ボランティア団体、各地区等の協力を得て、二宮海岸の一斉清掃を行う。	都市部生活環境課	・新たな実施方法等を検討するとともに、町民、各関係団体と連携・協力してキャンペーンを実施することで、海岸保全を推進する。	・令和2年度は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い中止した。	・海岸530キャンペーン参加者
18	1-4 二宮海岸の保全と魅力の向上	⑤松の保全事業	松を保全することにより、海岸の景観を保全するため、松くい虫被害予防のための薬剤を注入し、被害木を伐倒する。	都市部産業振興課	・松枯れ防止薬剤の注入及び松くい虫被害木の伐倒により、海岸周辺の松の保全に努める。	・松枯れ防止薬剤の注入を実施したほか、枯損樹木の伐倒を行い、松くい虫による被害の拡大を防いだ。	・薬剤注入本数（アンプル数）
19	1-4 二宮海岸の保全と魅力の向上	⑥梅沢海岸観光事業	海岸の魅力を向上するため、観光トイレの維持管理を行うとともに、地引網などを通じて町内外問わず多くの人に梅沢海岸の良さを知ってもらえるようPRを行う。	都市部産業振興課	・海岸の魅力向上を図るために引き続き、トイレ維持管理を実施する。また、観光資源の一つである地引網についても、協会と連携して魅力を発信する。	・新型コロナウイルスの感染拡大に伴い梅沢海岸のフェンスを閉鎖したため、観光客の来場数、地引網の実施数ともに激減した。	・夏季における梅沢海岸来場者数
20	1-5 良好な自然を象徴する動植物の保全	①自然環境を知るための講座の実施	自然環境への関心を高めるため、二宮の動植物について学び、自然と親しむ講座などを開催する。	教育委員会生涯学習課	・自然環境に関する講座を１講座開催する。	・新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、講座を中止した。	・講座数 ・参加人数

評価						課題	対応	R03事業計画
達成状況評価				評価割合(100)		・キャンペーンの参加者数は年々増加傾向にあるが、実施内容がマンネリ化、パターン化してしまっている。 ・新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、人が密集しないよう、開催方法を検討する必要がある。	・新型コロナウイルスの感染拡大防止策を講じながら、多くの方に参加してもらえるよう、新たな実施方法等を検討し、より良いキャンペーンを開催する。	・令和３年度は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い中止となったが、次年度開催に向けて、新たな実施方法等を検討するための準備期間とするとともに、キャンペーン以外でも、町民、各関係団体と連携、協力して実施できる取組みがないか検討していく。
R01 目標値	R02 目標値	R03 目標値	R04 目標値	達成状況評価	事業内容評価			
570人以上	570人以上	570人以上	570人以上	50	50			
				×	×			
R01 実績値	R02 実績値	R03 実績値	R04 実績値	事業達成率	事業内容達成率			
556人	0人			0%	80%			
R01 事業達成率	R02 事業達成率	R03 事業達成率	R04 事業達成率					
98%	0%			達成状況評価(A)	事業内容評価(B)			
事業内容評価				0%	40%			
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価	総合評価(A)＋(B) コロナの影響あり				
80%	80%			40%	―			
達成状況評価				評価割合(100)		・海岸の大きな松が松くい虫により枯損した場合、伐倒に多額の費用を要する他、継続的な松枯れ防止薬剤の注入も樹木に負担を掛けることから、抜本的な対策とならないことが課題である。	・松枯れ防止薬剤の薬効期間を勘案して最大限樹木に負担が掛からないよう努めるとともに、枯損樹木を早期に発見し、伐倒に努める。	・松枯れ防止薬剤の注入及び松くい虫被害木の伐倒により、海岸周辺の松の保全に努める。
R01 目標値	R02 目標値	R03 目標値	R04 目標値	達成状況評価	事業内容評価			
330アンプル	330アンプル	330アンプル	330アンプル	50	50			
				×	×			
R01 実績値	R02 実績値	R03 実績値	R04 実績値	事業達成率	事業内容達成率			
330アンプル	330アンプル			100%	100%			
R01 事業達成率	R02 事業達成率	R03 事業達成率	R04 事業達成率					
100%	100%			達成状況評価(A)	事業内容評価(B)			
事業内容評価				50%	50%			
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価	総合評価(A)＋(B)				
100%	100%			100%	A			
達成状況評価				評価割合(100)		・新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、入口門扉を閉鎖していたこともあり、来場者数が0となったが、新型コロナウイルスが収まった後には、観光地引網などの観光資源を周知し、来場者数の回復に努めなければならない。	・二宮町観光協会と連携し、二宮町観光協会ホームページ内での観光地引網の斡旋及びチラシの作成を行い周知を図っていく。	・新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、当面の間、梅沢海岸のフェンスを継続して閉鎖するが、引き続きトイレ維持管理を実施することで海岸の魅力向上を図る。
R01 目標値	R02 目標値	R03 目標値	R04 目標値	達成状況評価	事業内容評価			
1,700人	1,700人	1,700人	1,700人	50	50			
				×	×			
R01 実績値	R02 実績値	R03 実績値	R04 実績値	事業達成率	事業内容達成率			
7,439人	0人			0%	100%			
R01 事業達成率	R02 事業達成率	R03 事業達成率	R04 事業達成率					
100%	0%			達成状況評価(A)	事業内容評価(B)			
事業内容評価				0%	50%			
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価	総合評価(A)＋(B) コロナの影響あり				
100%	100%			50%	―			
達成状況評価				評価割合(100)		・新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、事業を中止せざるをえなかったが、オンライン等の非接触による開催には至らなかった。	・開催にあたっては、内容や対象世代を踏まえた上で、予めオンライン開催の準備も進める。	・新型コロナウイルスの感染拡大状況をみながら、自然環境に関する講座を開催する。
R01 目標値	R02 目標値	R03 目標値	R04 目標値	達成状況評価	事業内容評価			
3講座 40人	3講座 40人	3講座 40人	3講座 40人	50	50			
				×	×			
R01 実績値	R02 実績値	R03 実績値	R04 実績値	事業達成率	事業内容達成率			
1講座 10人	0講座 0人			0%	0%			
R01 事業達成率	R02 事業達成率	R03 事業達成率	R04 事業達成率					
29%	0%			達成状況評価(A)	事業内容評価(B)			
事業内容評価				0%	0%			
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価	総合評価(A)＋(B) コロナの影響あり				
80%	0%			0%	―			

No.	基本施策	取組み事業等	事業内容	担当課	R02事業計画	R02事業実績	数値指標
21	1-5 良好な自然を象徴する動植物の保全	②有害鳥獣被害対策事業	人と自然が共生するまちづくりをめざすため、有害鳥獣の捕獲許可等、適正な管理を行うとともに、県、近隣市町村、農業者等と連携し、農業被害、生活被害を防止し、生態系を保持する。	都市部生活環境課 ・　都市部産業振興課	・鳥獣捕獲等許可申請書を適正に審査し、許可証を交付する。 ・必要に応じて有害鳥獣捕獲罠及び檻の貸出しを行う。 ・有害鳥獣被害防止対策、並びに有害鳥獣遭遇対策に関する情報提供を行う。	・鳥獣捕獲等許可申請書を適正に審査し、許可証を交付した。 ・大型檻を新たに購入し、檻の貸出し及び捕獲物の処理体制を整備した。 ・有害鳥獣被害防止対策、並びに有害鳥獣遭遇対策に関する情報提供を行った。	・有害鳥獣による農業被害件数 ・有害鳥獣による生活被害件数
22	2-1 リデュースの促進（ごみの発生や排出の抑制）	①ごみ減量化推進事業	ごみの発生を抑制するため、環境活動団体等との連携・協力によるイベントやさまざまな広報媒体を通じて、リデュース(将来ごみとなるようなものを無駄に買わないこと)に関する普及啓発を行う。	都市部生活環境課	・エコフェスタにのみや及びふるさとまつりが新型コロナウイルス感染拡大防止により中止となったため、今後の状況を鑑みながらホームページや広報紙等で啓発を行う。	・新型コロナウイルスの感染拡大に伴いイベント（エコフェスタにのみや及びふるさとまつり）が中止となったため、町ホームページの環境関連のページを刷新するとともに、広報紙についても例年より掲載紙面の拡大や回数を増やすなど、啓発を充実させた。 ・生ごみ処理機の利用、食品ロス削減や適正分別などによるごみの排出抑制等に関する啓発を広報紙13回、ホームページ19回、SNS7回のほか、チラシ1回(転入者向けにごみ排出抑制のチラシを窓口配布)の計40回行った。	・啓発回数
23	2-1 リデュースの促進（ごみの発生や排出の抑制）	②マイバック・マイボトル等の利用促進	ごみの発生を抑制するため、イベントやさまざまな広報媒体を通じて、「かながわプラごみゼロ宣言」でも謳われているマイバック・マイボトルの利用促進や二宮町商店連合協同組合と連携したレジ袋の削減等に関する普及啓発を行う。	都市部生活環境課	・3R推進月間にホームページ等で啓発を行う。	・３R推進月間（10月）は、レジ袋等のワンウェイプラ削減に関連した啓発を広報紙1回、ホームページ1回、SNS1回の計３回行った。 ・３R推進月間（10月）以外では、小中学生を対象に、「マイバッグ・マイボトル」をチャレンジ項目のひとつに組み入れた啓発物を冬休み期間中の課題として配布した。また、レジ袋等のワンウェイプラ削減に関する啓発を広報紙1回、ホームページ３回、SNS1回、チラシ1回の計7回行った。	・啓発回数
24	2-1 リデュースの促進（ごみの発生や排出の抑制）	③水分もうひとしぼり運動	ごみの排出を抑制するため、イベントやさまざまな広報媒体を通じて、生ごみの水分もうひとしぼりの実施に関する普及啓発を行うことで、可燃ごみに含まれる水分量を減らす。	都市部生活環境課	・エコフェスタにのみや及びふるさとまつりが新型コロナウイルス感染拡大防止により中止となったため、今後の状況を鑑みながらホームページや広報紙等で啓発を行う。 ・地域環境推進員を通して水切りの重要性を伝え、地域にお知らせしていく。 ・広報紙等で水分もうひとしぼりの啓発を行う。 ・「水分もうひとしぼり・濡らさない・乾かす」に関する啓発を広報紙、ホームページで行う。	・ごみの組成分析調査を実施した結果、湿ベースで可燃ごみ中に含まれる水分は約60%（59.9%）であった。 ・水分もうひとしぼり運動に関する啓発を広報紙2回、ホームページ3回、SNS2回、チラシ1回の計8回行った。 ・新型コロナウイルスの感染拡大に伴いイベント（エコフェスタにのみや及びふるさとまつり）が中止となったため、ホームページの環境関連のページを刷新するとともに、広報紙についても例年より掲載紙面を拡大するなど、啓発を充実させた。	・回収可燃ごみ量内の水分割合(水分率)

評価						課題	対応	R03事業計画
達成状況評価				評価割合(100)		・近年増加傾向にあるイノシシの生活被害が、農地での捕獲実績と呼応して増加傾向にある。 ・イノシシの出没範囲が市街地に及んできているため、イノシシに遭遇した際の対処法について、町民に広く周知していく必要がある。	・町、農業者、地域住民が一体となってイノシシ被害対策を講じられるよう方針を定める。 ・庁内連絡会において、他課と連携を図りながら、効率的、効果的な対策を講じる。 ・イノシシに遭遇した際の対処法などをホームページや広報紙などで周知していく。	・鳥獣捕獲等許可申請書を適正に審査し、許可証を交付する。 ・必要に応じて有害鳥獣捕獲罠及び檻の貸出しを行う。 ・有害鳥獣被害防止対策、並びに有害鳥獣遭遇対策に関する情報提供を行う。
R01	R02	R03	R04	達成状況評価	事業内容評価			
目標値	目標値	目標値	目標値	50	50			
10件以下 5件以下	10件以下 5件以下	10件以下 5件以下	10件以下 5件以下	×	×			
R01	R02	R03	R04	事業達成率	事業内容達成率			
実績値	実績値	実績値	実績値	35%	100%			
59件 17件	19件 29件							
R01	R02	R03	R04					
事業達成率	事業達成率	事業達成率	事業達成率					
23%	35%			達成状況評価(A)	事業内容評価(B)			
事業内容評価				17%	50%			
R01	R02	R03	R04	総合評価(A)＋(B)				
事業内容評価	事業内容評価	事業内容評価	事業内容評価					
100%	100%			67%	C			
達成状況評価				評価割合(100)		・ごみ排出量の削減に向け、各家庭で負担なく簡単に取組めるごみ減量化策について、引き続きイベントや広報媒体等を通じて啓発を図る必要がある。 ・ごみ排出量の削減に向け、多くの町民に「自分事」として行動してもらえるよう、まずは誰でも簡単に取組むことができるごみ減量化策を様々な機会を通じて効率的に啓発を行う必要がある。 ・食品ロス削減を事業者協力のもと、消費行動（発生抑制）の改善を図る必要がある。 ・ごみ排出量の削減に向け、各家庭で負担なく簡単に取組めるごみ減量化策について、引き続きホームページ、広報紙やイベント等を通じ啓発を図る必要がある。	・ホームページは、課題であった啓発メニューや内容の充実化を図るとともに、カテゴリ分けをする等、従来の形式を刷新し、抜本的な見直しを行ったため、今後も引き続き、新しい情報や発信内容を変えるなどの更新を行う。 ・町民等にとって身近な(取り組みやすい)ごみ減量化策を公募し、啓発材料として活用する。 ・今後の新型コロナウイルスの感染拡大状況によるが、引き続き、広報紙やホームページ、イベント等を通じて、誰でも簡単に取り組むことができるようなごみ減量化策の啓発に努める。	・新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、イベントが中止となることも想定されるため、その他の啓発手段を積極的に活用しながら啓発を行う。
R01	R02	R03	R04	達成状況評価	事業内容評価			
目標値	目標値	目標値	目標値	25	75			
4回以上	4回以上	4回以上	4回以上	×	×			
R01	R02	R03	R04	事業達成率	事業内容達成率			
実績値	実績値	実績値	実績値	100%	100%			
8回	40回							
R01	R02	R03	R04					
事業達成率	事業達成率	事業達成率	事業達成率					
100%	100%			達成状況評価(A)	事業内容評価(B)			
事業内容評価				25%	75%			
R01	R02	R03	R04	総合評価(A)＋(B)				
事業内容評価	事業内容評価	事業内容評価	事業内容評価					
80%	100%			100%	A			
達成状況評価				評価割合(100)		・マイバッグやマイカゴについては当たり前の行動として浸透していることが伺えるものの、マイボトルについては、マイバッグほどの浸透がうかがえない。	・ペットボトルtoペットボトルといった技術革新も進んできていることから、リデュースのみならず、３Rの視点で啓発を進める。	・3R推進月間は重点期間とし、通年で、広報紙やホームページ等を活用した積極的な啓発を行う。
R01	R02	R03	R04	達成状況評価	事業内容評価			
目標値	目標値	目標値	目標値	50	50			
2回以上	2回以上	2回以上	2回以上	×	×			
R01	R02	R03	R04	事業達成率	事業内容達成率			
実績値	実績値	実績値	実績値	100%	100%			
2回	10回							
R01	R02	R03	R04					
事業達成率	事業達成率	事業達成率	事業達成率					
100%	100%			達成状況評価(A)	事業内容評価(B)			
事業内容評価				50%	50%			
R01	R02	R03	R04	総合評価(A)＋(B)				
事業内容評価	事業内容評価	事業内容評価	事業内容評価					
80%	100%			100%	A			
達成状況評価				評価割合(100)		・ごみ排出量の削減に向け、各家庭で負担なく簡単に取組めるごみ減量化策について、引き続きイベントや広報媒体等を通じて啓発を図る必要がある。	・ホームページは、課題であった啓発メニューや内容の充実化を図るとともに、カテゴリ分けをする等、従来の形式を刷新し、抜本的な見直しを行ったため、今後も引き続き、新しい情報や発信内容を変えるなどの更新を行う。 ・町民等にとって身近な(取り組みやすい)ごみ減量化策を公募し、啓発材料として活用する。 ・今後の新型コロナウイルスの感染拡大状況によるが、引き続き、広報紙やホームページ、イベント等を通じて、誰でも簡単に取り組むことができるようなごみ減量化策の啓発に努める。	・新型コロナウイルスの感染拡大状況によっては、イベントが中止となることも想定されるため、その他の啓発手段を積極的に活用しながら啓発を行う。
R01	R02	R03	R04	達成状況評価	事業内容評価			
目標値	目標値	目標値	目標値	75	25			
50%	50%	50%	50%	×	×			
R01	R02	R03	R04	事業達成率	事業内容達成率			
実績値	実績値	実績値	実績値	100%	100%			
60%	59.9%							
R01	R02	R03	R04					
事業達成率	事業達成率	事業達成率	事業達成率					
100%	100%			達成状況評価(A)	事業内容評価(B)			
事業内容評価				75%	25%			
R01	R02	R03	R04	総合評価(A)＋(B)				
事業内容評価	事業内容評価	事業内容評価	事業内容評価					
80%	100%			100%	A			

No.	基本施策	取組み事業等	事業内容	担当課	R02事業計画	R02事業実績	数値指標
25	2-1 リデュースの促進（ごみの発生や排出の抑制）	④食べ残しゼロ運動の推進	ごみの排出を抑制するため、イベントやさまざまな広報媒体を通じて、3010運動(宴会時の食べ切り)等の実施に関する普及啓発を行う。	都市部生活環境課	・エコフェスタにのみや及びふるさとまつりが新型コロナウイルス感染拡大防止により中止となったため、今後の状況を鑑みながらホームページや広報紙等で啓発を行う。	・食べ残しゼロ運動に関する啓発を広報紙4回、ホームページ4回、SNS2回の計10回行った。	・啓発回数
26	2-1 リデュースの促進（ごみの発生や排出の抑制）	⑤ごみ減量化推進協議会による減量化の推進	さらなるごみの減量化方策を研究するため、ごみ減量化推進協議会を開催する。	都市部生活環境課	・ごみ減量化研究会を開催する。 ・生ごみのリサイクルチェーン、水分もうひとしぼり運動等の水分率削減等のごみ減量化施策について検討を行う。	・新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、年2回の会議を開催することができなかったため、委員に向けてごみの減量化策の公募を書面で実施した。	・協議会開催回数
27	2-2 リユースやリサイクルの促進	①リユースショップの利用促進	リユースを促進するため、イベントやさまざまな広報媒体を通じて、リユースショップの利用や中古品の再利用に関する普及啓発を行う。	都市部生活環境課	・エコフェスタにのみや及びふるさとまつりが新型コロナウイルス感染拡大防止により中止となったため、今後の状況を鑑みながらホームページや広報紙等で啓発を行う。	・新型コロナウイルスの感染拡大に伴いイベントを中止したため、エコフェスタでの啓発を実施することができなかったが、ホームページによる啓発は行った。	・リユースを促進するための啓発回数
28	2-2 リユースやリサイクルの促進	②グリーン購入の推進	リユースやリサイクルを促進するため、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」に基づき、環境への負担の少ない環境物品の調達を推進する。	都市部生活環境課	・環境物品等の調達の推進を図るための方針を作成し啓発する。 ・小学生、中学生向けチラシ「エコライフチャレンジ」において啓発する。	・二宮町環境物品等の調達の推進を図るための方針（グリーン購入の促進を図るための方針）の令和2年度版を作成し、ホームページへ掲載（更新）した。	・グリーン購入に関する啓発の回数

評価						課題	対応	R03事業計画
達成状況評価				評価割合(100)		・ごみ排出量の削減に向け、各家庭で負担なく簡単に取組めるごみ減量化策について、引き続きイベントや広報媒体等を通じて啓発を図る必要がある。 ・食品ロス削減を事業者協力のもと、消費行動（発生抑制）の改善を図る必要がある。	・ホームページは、課題であった啓発メニューや内容の充実化を図るとともに、カテゴリ分けをする等、従来の形式を刷新し、抜本的な見直しを行ったため、今後も引き続き、新しい情報や発信内容を変えるなどの更新を行う。 ・事業者協力のもと、消費者である町民向けに食品ロス削減に関わる啓発を行うことを検討する。	・新型コロナウイルスの感染拡大状況によっては、イベントが中止となることも想定されるため、その他の啓発手段を積極的に活用しながら啓発を行う。
R01	R02	R03	R04	達成状況評価	事業内容評価			
目標値	目標値	目標値	目標値	25	75			
4回以上	4回以上	4回以上	4回以上	×	×			
R01	R02	R03	R04	事業達成率	事業内容達成率			
実績値	実績値	実績値	実績値	100%	100%			
3回	10回							
R01	R02	R03	R04	達成状況評価(A)	事業内容評価(B)			
事業達成率	事業達成率	事業達成率	事業達成率	25%	75%			
75%	100%							
事業内容評価				総合評価(A)＋(B)				
R01	R02	R03	R04					
事業内容評価	事業内容評価	事業内容評価	事業内容評価					
80%	100%			100%	A			
達成状況評価				評価割合(100)		・新型コロナウイルスの感染拡大によるイベント中止を想定して、会議の代替となる開催方法を考える必要がある。	・今後も新型コロナウイルスの感染拡大状況により、会議開催が困難な状況も想定されることから、書面でも効率的かつ効果的な手法の研究ができるように努める。	・ごみ減量化研究会を開催する。 ・一般廃棄物処理基本計画の改訂作業に伴い、今後実施していくごみ減量化策等について検討を行う。
R01	R02	R03	R04	達成状況評価	事業内容評価			
目標値	目標値	目標値	目標値	25	75			
2回	2回	2回	2回	×	×			
R01	R02	R03	R04	事業達成率	事業内容達成率			
実績値	実績値	実績値	実績値	0%	80%			
1回	0回							
R01	R02	R03	R04	達成状況評価(A)	事業内容評価(B)			
事業達成率	事業達成率	事業達成率	事業達成率	0%	60%			
50%	0%							
事業内容評価				総合評価(A)＋(B)				
R01	R02	R03	R04	コロナの影響あり				
事業内容評価	事業内容評価	事業内容評価	事業内容評価					
100%	80%			60%	―			
達成状況評価				評価割合(100)		・リユースショップについては、新型コロナウイルスの感染拡大も懸念されることから、積極的な周知には踏み切れなかった。	・３Rの積極的な啓発は推進していくものの、リユースショップについては、新型コロナウイルスの感染拡大状況をみながら啓発を進めていく。 ・社会福祉協議会などにおいて、リユースバザーなどの事業が展開され始めたことから、連携しながらより広く啓発をしていく。	・３Rの観点で積極的な啓発を行い、新型コロナウイルスの感染拡大状況をみながら、リユースショップについても積極的に啓発を図って行く。
R01	R02	R03	R04	達成状況評価	事業内容評価			
目標値	目標値	目標値	目標値	50	50			
4回	4回	4回	4回	×	×			
R01	R02	R03	R04	事業達成率	事業内容達成率			
実績値	実績値	実績値	実績値	25%	100%			
2回	1回							
R01	R02	R03	R04	達成状況評価(A)	事業内容評価(B)			
事業達成率	事業達成率	事業達成率	事業達成率	13%	50%			
50%	25%							
事業内容評価				総合評価(A)＋(B)				
R01	R02	R03	R04	コロナの影響あり				
事業内容評価	事業内容評価	事業内容評価	事業内容評価					
80%	100%			63%	―			
達成状況評価				評価割合(100)		・既存の啓発に加え、その他の啓発手段を積極的に活用しながら啓発回数を増やす必要がある。	・庁内会議などを通して、職員向けに積極的な啓発をする。 ・広報紙やホームページ等によって、町民向けに積極的な啓発をする。	・環境物品等の調達の推進を図るための方針を見直すほか、SDGsの観点を含めるなど、あらゆる方法で積極的な啓発をする。
R01	R02	R03	R04	達成状況評価	事業内容評価			
目標値	目標値	目標値	目標値	25	75			
3回	3回	3回	3回	×	×			
R01	R02	R03	R04	事業達成率	事業内容達成率			
実績値	実績値	実績値	実績値	33%	60%			
2回	1回							
R01	R02	R03	R04	達成状況評価(A)	事業内容評価(B)			
事業達成率	事業達成率	事業達成率	事業達成率	8%	45%			
67%	33%							
事業内容評価				総合評価(A)＋(B)				
R01	R02	R03	R04					
事業内容評価	事業内容評価	事業内容評価	事業内容評価					
100%	60%			53%	C			

No.	基本施策	取組み事業等	事業内容	担当課	R02事業計画	R02事業実績	数値指標
29	2-2 リユースやリサイクルの促進	③生ごみ処理機の導入促進	リサイクルを促進するため、イベントやさまざまな広報媒体を通じて、生ごみ処理機による堆肥の再生利用に関する普及啓発を行うとともに、生ごみ処理機購入費用の一部補助による導入促進を図る。	都市部生活環境課	・通年で生ごみ処理機の購入補助を行う。 ・令和3年度から電動型の購入補助が終了することを告知する。 ・庁舎入口付近へのキエーロの展示を継続するとともに、東大果樹園跡地での展示に向けた関係機関との調整を行う。 ・ふれあい農園事業との事業間連携をする。	・通年で生ごみ処理機の購入補助を行った。 ・令和３年度から電動型の購入補助が終了することを告知した。 ・キエーロを促進するため、使用方法等を紹介した動画を作成しホームページ上で配信した。	・生ごみ処理機導入補助件数
30	2-3 ごみの適正な処理・処分の推進	①二宮町一般廃棄物処理基本計画の推進	町民の快適な生活環境づくりに寄与するため、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づき、一般廃棄物処理基本計画を推進する。	都市部生活環境課	・本計画に基づき、ごみ減量化施策を実施する。 ①1人1日当たりのごみ総排出量目標値以下 ②目標値の資源化率以上 ③目標値の埋立率以下 ※一般廃棄物処理基本計画を令和3年度に改訂する。	・令和2年度は、以下3つの計画目標のうち1つ(資源化率)を達成した。 ①1人1日当たりのごみ総排出量 840ｇ　未達 ②資源化率　35.03%　達成 ③埋立率　1.1%　未達	・一般廃棄物処理基本計画における減量化の目標達成までの進捗率 ・一般廃棄物処理基本計画における資源化の目標達成までの進捗率 一般廃棄物処理基本計画における最終処分量の目標達成までの進捗率
31	2-3 ごみの適正な処理・処分の推進	②ごみ置場散乱防止対策（カラスネット配布）	カラス等によるごみ散乱を防止するため、カラス対策の方法等を周知するとともに、カラスネットを配布する。	都市部生活環境課	・カラスネット更新申請時に防除の確認を行う。	・新たなカラスの被害対策として、ファスナー付きカラスネットの配布を行った。 ・利用者のニーズに合わせて、２種類のカラスネットを配布した。	・カラスネット配布箇所に対するカラス被害防除割合
32	2-3 ごみの適正な処理・処分の推進	③し尿処理事業	し尿の衛生的処理により生活環境を保全するため、し尿処理施設の適正な維持管理を行う。	都市部生活環境課	・令和元年度は、旧施設と新施設の維持管理経費で対応していたが令和2年度は、新施設のし尿等下水道投入施設の計画等に基づき対応する。 ・し尿処理施設の水質、臭気、ダイオキシン類測定を実施する。	以下の測定を行った結果、いずれも環境基準値内となり、問題はなかった。 ・水質測定(放流水１ヶ所４７項目、原水１ヶ所８項目) ・臭気指数測定(排出口出口１ヶ所３項目) ・脱水汚泥測定(汚泥1ヶ所３項目)	・し尿処理施設の水質、臭気、ダイオキシン類測定における基準値適合項目割合

評価						課題	対応	R03事業計画
達成状況評価				評価割合(100)		・令和３年度から、電動型生ごみ処理機の購入補助が終了するため、補助件数の減少が懸念される。 ・キエーロの普及を促進するため、効果的な啓発方法を検討する必要がある。	・近年流通している消滅型生ごみ処理機キエーロを効果的かつ効率的に周知していき、ホームページで配信しているPR動画の周知、啓発チラシを作成する等して、新規購入者獲得を目指す。	・通年で生ごみ処理機（非電動型）の購入補助を行う。 ・庁舎入口付近へのキエーロの展示を継続するとともに、より効果的かつ効率的な啓発方法を検討する。 ・ふれあい農園事業との事業間連携をする。
R01 目標値	R02 目標値	R03 目標値	R04 目標値	達成状況評価	事業内容評価			
35件	35件	35件	35件	50	50			
R01 実績値	R02 実績値	R03 実績値	R04 実績値	×	×			
24件	46件			事業達成率	事業内容達成率			
R01 事業達成率	R02 事業達成率	R03 事業達成率	R04 事業達成率	100%	80%			
69%	100%			達成状況評価(A)	事業内容評価(B)			
事業内容評価				50%	40%			
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価	総合評価(A)＋(B)				
80%	80%			90%	B			
達成状況評価				評価割合(100)		・新型コロナウイルスの感染拡大に伴う町民等のライフスタイル（町内滞在時間の増加など）の変化により、原単位（1人1日あたりのごみ排出量）における計画値と実績値に乖離が生じている。 ・町民及び事業者へ、ごみ減量化等のさらなる意識醸成を図る必要がある。	・計画値と実績値に乖離が生じているが、引き続きごみ減量化策等について広報媒体を活用して積極的に啓発する。 ・計画目標の達成に向け、地域環境推進員等と協働し、一般廃棄物処理基本計画に基づく各種施策の有効策を検討し、引き続き推進を図る。	・本計画に基づき、ごみ減量化施策を実施する。 ①1人1日当たりのごみ総排出量目標値以下 ②目標値の資源化率以上 ③目標値の埋立率以下 ※一般廃棄物処理基本計画を令和3年度に改訂する。
R01 目標値	R02 目標値	R03 目標値	R04 目標値	達成状況評価	事業内容評価			
100% 100% 100%	100% 100% 100%	100% 100% 100%	100% 100% 100%	75	25			
R01 実績値	R02 実績値	R03 実績値	R04 実績値	×	×			
0 0 0	0 100 0			事業達成率	事業内容達成率			
R01 事業達成率	R02 事業達成率	R03 事業達成率	R04 事業達成率	33%	100%			
0%	33%			達成状況評価(A)	事業内容評価(B)			
事業内容評価				25%	25%			
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価	総合評価(A)＋(B) コロナの影響あり				
100%	100%			50%	―			
達成状況評価				評価割合(100)		・カラスネットをしっかり被せない（ごみがはみ出る、ネットに隙間ができる）、しっかり重しを置かない等といったことが要因だと考えられるが、ネットを掛けても、ごみ置場がカラスに荒らされてしまうといった相談が寄せられる。	・利用者一人ひとりがカラスネットを正しく利用するなど、基本的な対策を徹底してもらうよう、窓口などで説明していくとともに、被害状況や利用状況に合わせて、ファスナー付きカラスネットの利用を推進していく。 ・近隣自治体ではどのようなカラスネットを利用しているか、新たな商品が市場に出ていないかなど、随時情報収集を行っていく。	・更新申請時に、カラスネットの適切な利用方法について周知啓発を行う。 ・利用者の希望や利用世帯数などを確認しながら、状況に合った種類のカラスネットを配布していく。
R01 目標値	R02 目標値	R03 目標値	R04 目標値	達成状況評価	事業内容評価			
100%	100%	100%	100%	50	50			
R01 実績値	R02 実績値	R03 実績値	R04 実績値	×	×			
80%	80%			事業達成率	事業内容達成率			
R01 事業達成率	R02 事業達成率	R03 事業達成率	R04 事業達成率	80%	80%			
80%	80%			達成状況評価(A)	事業内容評価(B)			
事業内容評価				40%	40%			
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価	総合評価(A)＋(B)				
80%	80%			80%	B			
達成状況評価				評価割合(100)		・令和２年度が新施設の本格稼働１年目で、当初計画どおり順調な稼働となっているが、今後の稼働状況に応じて、整備点検、修繕、工事等の管理計画を見直す必要がある。	・新施設であるものの、長寿命化を意識しながら、適切な管理計画に基づき、維持管理を行う。	・し尿等下水道投入施設の管理計画等に基づき維持管理する。 ・し尿等下水道投入施設の水質測定、臭気指数測定、脱水汚泥分析測定を実施するとともに、各機械の分解整備点検等も実施する。
R01 目標値	R02 目標値	R03 目標値	R04 目標値	達成状況評価	事業内容評価			
100%	100%	100%	100%	75	25			
R01 実績値	R02 実績値	R03 実績値	R04 実績値	×	×			
100%	100%			事業達成率	事業内容達成率			
R01 事業達成率	R02 事業達成率	R03 事業達成率	R04 事業達成率	100%	100%			
100%	100%			達成状況評価(A)	事業内容評価(B)			
事業内容評価				75%	25%			
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価	総合評価(A)＋(B)				
100%	100%			100%	A			

No.	基本施策	取組み事業等	事業内容	担当課	R02事業計画	R02事業実績	数値指標
33	2-3 ごみの適正な処理・処分の推進	④最終処分場施設運営事業	周辺の生活環境への影響を防ぎ、環境汚染の未然防止に努めるため、埋立てを終了した最終処分場の適正な維持管理を行う。	都市部生活環境課	・最終処分場の水質、臭気、ダイオキシン類測定を実施する。 ・測定結果をホームページで公表する。	以下の測定を行った結果、いずれも環境基準値内となり、問題はなかった。 ・水質測定(放流水1ヶ所46項目、地下水3ヶ所45項目、原水2ヶ所56項目) ・臭気指数測定(敷地境界１ヶ所１項目) ・ダイオキシン類測定(放流水１ヶ所１項目、地下水3ヶ所1項目、原水2ヶ所1項目) ・測定結果をホームページで公表した。	・最終処分場の水質、臭気、ダイオキシン類測定における基準値適合項目割合
34	2-3 ごみの適正な処理・処分の推進	⑤ごみの処理・処分に関する教育	ごみの適正な処理・処分への関心を高めるため、ごみの出し方や処理についての教育を学校等の学びの場で行う。	教育委員会 教育総務課	・ごみの適正な処理・処分への関心を高めるため、ごみの出し方や処理についての教育を学校や学習の場で行う。	・ごみの適正な処理・処分についての学習を小学校４年生の社会の単元で、各校10回程度行った。 ・令和２年度は、新型コロナウイルスの感染拡大により、令和元年度と比較し８割程度の授業数となったため、事業達成率を80％とした。	・実施予定回数に対する環境教育実施回数割合
35	2-4 不法投棄防止の推進	①不法投棄防止事業	計画的な大量ごみの山間投棄等、犯罪性の高い不法投棄を未然に防ぐため、県、警察、ボランティア団体と連携し、不法投棄監視及び不法投棄物の撤去を行う。	都市部生活環境課	・不法投棄パトロールを通年で週1回実施する。 ・不法投棄物の撤去により、更なる不法投棄の誘発を防ぐ。 ・葛川をきれいにする会と連携し、河川の保全に努める。	・不法投棄パトロール、廃棄物不法投棄監視指導一斉取締りの実施により目標を達成した。 ※令和２年度：不法投棄防止パトロール（51回）＋廃棄物不法投棄監視指導一斉取締り（1回） ・投棄物撤去と啓発看板設置により、不法投棄防止を図った。 ・葛川をきれいにする会と連携し、河川清掃ごみを回収した。	・不法投棄パトロール実施回数
36	2-4 不法投棄防止の推進	②ごみのポイ捨て防止事業	ごみの持ち帰りマナー向上やポイ捨てを防止するため、イベント等を通じて、タバコやペットボトル等のポイ捨て防止に関する普及啓発を行う。	都市部生活環境課	・エコフェスタにのみや及びふるさとまつりが新型コロナウイルス感染拡大防止により中止となったため、今後の状況を鑑みながらホームページや広報紙等で啓発を行う。	・エコフェスタにのみややふるさとまつりなどの町内イベントが新型コロナウイルスの感染拡大に伴い中止となったため、未実施となった。	・ごみのポイ捨てを防止するための啓発回数

評価						課題	対応	R03事業計画
達成状況評価				評価割合(100)		・今後適切な維持管理を長期にわたって継続していくため、日常点検、委託、修繕、工事等を計画的に行うことが必要である。	・公共施設等総合管理計画に基づき、公共施設「個別施設計画」を策定し、長期的な維持管理をするとともに、今後の方向性も検討していく。	・最終処分場の水質、臭気、ダイオキシン類測定を実施する。 ・測定結果をホームページで公表する。 ・修繕、工事等の必要な場所の整備等を実施する。
R01 目標値	R02 目標値	R03 目標値	R04 目標値	達成状況評価	事業内容評価			
100%	100%	100%	100%	75	25			
R01 実績値	R02 実績値	R03 実績値	R04 実績値	×	×			
100%	100%			事業達成率	事業内容達成率			
R01 事業達成率	R02 事業達成率	R03 事業達成率	R04 事業達成率	100%	100%			
100%	100%			達成状況評価(A)	事業内容評価(B)			
事業内容評価				75%	25%			
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価	総合評価(A)＋(B)				
100%	100%			100%	A			
達成状況評価				評価割合(100)		・「社会科教科書」を教材とした教育を主としており、日常生活に繋がる身近な環境教育が求められる。	・「社会科教科書」を教材とした教育を行うとともに、日常生活に繋がる身近な環境教育を取り入れていく。	・ごみの適正な処理、処分への関心を高めるため、ごみの出し方や処理についての教育を学校や学習の場で行う。
R01 目標値	R02 目標値	R03 目標値	R04 目標値	達成状況評価	事業内容評価			
100%	100%	100%	100%	50	50			
R01 実績値	R02 実績値	R03 実績値	R04 実績値	×	×			
100%	80%			事業達成率	事業内容達成率			
R01 事業達成率	R02 事業達成率	R03 事業達成率	R04 事業達成率	80%	100%			
100%	80%			達成状況評価(A)	事業内容評価(B)			
事業内容評価				40%	50%			
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価	総合評価(A)＋(B) コロナの影響あり				
100%	100%			90%	―			
達成状況評価				評価割合(100)		・不法投棄防止パトロール時における、不法投棄物の回収量は年々減少傾向にあるものの、ごみ置場にごみが放置されたままになっている等の相談が、依然として多く寄せられている。	・不法投棄防止パトロール時に、町内を巡回監視することにより、不法投棄の抑止、未然防止を図るとともに、不法投棄物の早期発見、早期回収により、更なる不法投棄の誘発を防ぐ。	・不法投棄パトロールを通年で週1回実施する。 ・不法投棄パトロールの実施により、町内を巡回監視し、不法投棄の抑止を図る。 ・葛川をきれいにする会が清掃した河川ごみを回収する。
R01 目標値	R02 目標値	R03 目標値	R04 目標値	達成状況評価	事業内容評価			
52回	52回	52回	52回	50	50			
R01 実績値	R02 実績値	R03 実績値	R04 実績値	×	×			
54回	52回			事業達成率	事業内容達成率			
R01 事業達成率	R02 事業達成率	R03 事業達成率	R04 事業達成率	100%	100%			
100%	100%			達成状況評価(A)	事業内容評価(B)			
事業内容評価				50%	50%			
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価	総合評価(A)＋(B)				
100%	100%			100%	A			
達成状況評価				評価割合(100)		・ポイ捨ては、山間部への大量投棄等と比較して軽微な印象があるためか、罪の意識が軽い傾向にあり、至る所で行われるため、不法投棄箇所を特定して啓発を行うことが困難である。	・ポイ捨てに対する罪の意識を高められるよう、ガールスカウトとの連携により子どもたちと協同して啓発活動を実施する。	・エコフェスタにのみや、ふるさとまつり、湘南海岸５３０キャンペーン、大型店舗前で子どもたちと協同で実施している街頭美化キャンペーンなどの町内イベントにて啓発を行う。
R01 目標値	R02 目標値	R03 目標値	R04 目標値	達成状況評価	事業内容評価			
5回	5回	5回	5回	50	50			
R01 実績値	R02 実績値	R03 実績値	R04 実績値	×	×			
5回	2回			事業達成率	事業内容達成率			
R01 事業達成率	R02 事業達成率	R03 事業達成率	R04 事業達成率	40%	100%			
100%	40%			達成状況評価(A)	事業内容評価(B)			
事業内容評価				20%	50%			
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価	総合評価(A)＋(B) コロナの影響あり				
100%	100%			70%	―			

No.	基本施策	取組み事業等	事業内容	担当課	R02事業計画	R02事業実績	数値指標
37	2-5 地産地消の促進	①地元産品の消費促進	地産地消を促進するため、朝市やイベントを通じて、地元で採れた農産物や海産物の購入を促進する。	都市部産業振興課	・ふるさとまつりは、新型コロナウイルス感染拡大防止により中止となったが、朝市等のイベントを通じて引き続き、購入の促進を図る。	・指標とするふるさとまつりは中止となり、朝市も新型コロナウイルスの感染拡大に伴い中止とした月もあったが、開催された朝市においては活発な販売が行われた。	・湘南にのみやふるさとまつりの来場者数
38	2-5 地産地消の促進	②地元産品の循環型活用の促進	地産地消を促進するため、地元産品を消費して出た生ごみの堆肥化と、その堆肥の家庭菜園やふれあい農園等での活用を推進する。	都市部生活環境課	・給食センターに設置している大型生ごみ処理機の活用事例のPRによりリサイクルチェーンの形成に活かす。	・学校給食センターに設置してある大型生ごみ処理機の維持管理やできた肥料を、学校施設（学校花壇）で活用した。 ・ふれあい農園利用者に生ごみ処理機購入費補助制度について周知した。	・大型生ごみ処理機の設置基数
39	3-1 省資源・省エネルギー活動の促進、 3-2 自然エネルギーの活用	①地球温暖化防止運動の推進	温室効果ガスの排出抑制を推進するため、環境活動団体等との連携・協力によるイベントやさまざまな広報媒体を通じて、エコドライブキャンペーンや再生可能エネルギー等に関する情報提供並びに普及啓発を行う。	都市部生活環境課	・エコフェスタにのみや及びふるさとまつりが新型コロナウイルス感染拡大防止により中止となったため、今後の状況を鑑みながらホームページや広報紙等で啓発を行う。	・新型コロナウイルスの感染拡大に伴い各種イベントが中止となったが、環境関連のホームページ刷新をはじめ、広報紙やFacebookなどを積極的に活用するとともに、マイエコ10宣言については町内全小中学校で実施した。 ・町内の中学校で実施したマイエコ10宣言は、16項目中、平均9.8項目実施できている、または実施できそうであると回答が得られた。	・地球温暖化防止に向けた啓発回数 ↓ ※低炭素社会の形成に係る唯一の重点プランの指標が「啓発回数」では、基本目標の達成状況を判断しにくいため、ふるさとまつりで実施している「マイエコ10宣言」の回収時に「トライする項目」の他、「実効している項目」を教えてもらい、「温暖化防止行動の実行率」に指標を変更。（マイエコ１０宣言で、10個以上選択した人の中で、５個以上実践している人の割合）
40	3-1 省資源・省エネルギー活動の促進、 3-2 自然エネルギーの活用	②ムダな電力消費等の節約啓発	節電を促進するため、さまざまな広報媒体や子ども向けチラシの学校での配布を通じて、節電に関する普及啓発を行う。	都市部生活環境課	・広報紙やホームページでの周知、町内イベント等で節電についての啓発活動を行う。また、町内小中学生を対象に夏冬休み期間中の課題を通して環境教育を実施する。	・町内の全小中学校に冬休みの課題として「マイエコ１０宣言」を配布、回収し、分析を行い、児童、生徒、学校へフィードバックを行った。 ・ホームページを刷新したことで、啓発の場を増やした。	・啓発回数

評価						課題	対応	R03事業計画
達成状況評価				評価割合(100)		・新型コロナウイルスの感染拡大状況に左右されるイベントに頼らない地産地消の促進を検討する必要がある。	・新型コロナウイルスの感染拡大状況に左右されるイベントに頼らない地産地消の促進を検討する。	・現時点で未確定であるふるさとまつりの開催状況に応じ、新型コロナウイルスの感染拡大防止に配慮しながら購入促進を図る。
R01 目標値	R02 目標値	R03 目標値	R04 目標値	達成状況評価	事業内容評価			
10,000人	10,000人	10,000人	10,000人	50	50			
R01 実績値	R02 実績値	R03 実績値	R04 実績値	×	×			
9,000人	0人			事業達成率	事業内容達成率			
R01 事業達成率	R02 事業達成率	R03 事業達成率	R04 事業達成率	0%	100%			
90%	0%			達成状況評価(A)	事業内容評価(B)			
事業内容評価				0%	50%			
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価	総合評価(A)＋(B) コロナの影響あり				
100%	100%			50%	―			
達成状況評価				評価割合(100)		・地元産品の消費の促進により町内での循環につながる取組みになっているか、事業間、地域間連携を図り、生ごみリサイクルチェーンの形成に取り組んでいるか検討が必要である。	・大型生ごみ処理機等からできた肥料を団体、利用者に継続的に無料配布できるよう給食センター設置の大型生ごみ処理機の維持管理を行う。 ・ふれあい農園利用者に生ごみ処理機購入補助制度について周知する。	・給食センターに設置している大型生ごみ処理機の活用事例のPRによりリサイクルチェーンの形成に活かす。
R01 目標値	R02 目標値	R03 目標値	R04 目標値	達成状況評価	事業内容評価			
1基	1基	1基	1基	25	75			
R01 実績値	R02 実績値	R03 実績値	R04 実績値	×	×			
1基	1基			事業達成率	事業内容達成率			
R01 事業達成率	R02 事業達成率	R03 事業達成率	R04 事業達成率	100%	40%			
100%	100%			達成状況評価(A)	事業内容評価(B)			
事業内容評価				25%	30%			
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価	総合評価(A)＋(B)				
20%	40%			55%	C			
達成状況評価				評価割合(100)		・新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、ふるさとまつりなどの集客を見込めるイベントなどの開催目途が立たず、フェイストゥフェイスの啓発活動が困難な状況にある。	・イベントによる啓発はできないものの、今後の社会を見通し、ホームページの刷新やFacebookへの積極的な投稿などを実施する。	・新型コロナウイルスの感染拡大状況を鑑みてイベントを実施するとともに、ホームページや広報紙等における啓発を行いながら、ターゲットを絞った啓発も実施することで効率的かつ効果的な啓発を行う。 ・町内小中学校向けにマイエコ10宣言を実施し、結果をフィードバックしていく。
R01 目標値	R02 目標値	R03 目標値	R04 目標値	達成状況評価	事業内容評価			
100%	100%	100%	100%	25	75			
R01 実績値	R02 実績値	R03 実績値	R04 実績値	×	×			
66%	0%			事業達成率	事業内容達成率			
R01 事業達成率	R02 事業達成率	R03 事業達成率	R04 事業達成率	0%	100%			
66%	0%			達成状況評価(A)	事業内容評価(B)			
事業内容評価				0%	75%			
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価	総合評価(A)＋(B) コロナの影響あり				
100%	100%			75%	―			
達成状況評価				評価割合(100)		・紙のやりとりだけでなく、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う問題や教育カリキュラムなど、今後どのように学校教育と連携していくかが課題である。	・配布した課題にホームページに誘導するQRコードを配置し、ホームページなどを見てもらえるような内容の紙面構成とする。	・学校に夏休み、冬休みの宿題を配布し、啓発を行う。 ・グリーンカーテンの設置やクールアースデー、省エネルギー月間など、年間を通して、広報紙やホームページ等により啓発を行う。
R01 目標値	R02 目標値	R03 目標値	R04 目標値	達成状況評価	事業内容評価			
3回	3回	3回	3回	50	50			
R01 実績値	R02 実績値	R03 実績値	R04 実績値	×	×			
4回	12回			事業達成率	事業内容達成率			
R01 事業達成率	R02 事業達成率	R03 事業達成率	R04 事業達成率	100%	100%			
100%	100%			達成状況評価(A)	事業内容評価(B)			
事業内容評価				50%	50%			
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価	総合評価(A)＋(B)				
100%	100%			100%	A			

No.	基本施策	取組み事業等	事業内容	担当課	R02事業計画	R02事業実績	数値指標
41	3-1 省資源・省エネルギー活動の促進、 3-2 自然エネルギーの活用	③エコカーの導入（電気自動車等導入検討）事業	職員の公用車利用による環境への負荷を軽減するため、「二宮町地球温暖化対策実行計画(事務事業編)」に基づき、公用車の買替え等の際は、低燃費車や電気自動車等のエコカーを導入する。	政策総務部財務課	・5台の更新車両全てにエコカーを導入する。	・入札の結果、現在使用している６台のエコカーを再リースし、継続して使用した。さらに、新規リースでプラグインハイブリッド車を１台導入した。また、職員向けにエコドライブの啓発を実施した。	・低燃費車や電気自動車等のエコカー導入台数
42	3-1 省資源・省エネルギー活動の促進、 3-2 自然エネルギーの活用	④環境負荷の少ない交通の利用促進	環境負荷の少ない交通手段(公共交通)の利用を促進するため、「にの♡バス」等を通じて、啓発を行うとともに、バス停毎の乗降実績等を基に「にの♡バス」の見直しを検討する。	政策総務部企画政策課・ 都市部都市整備課	・広報、ホームページによる啓発をし、利用促進を図る。 ・コミュニティバスの乗降データ実績、アンケート調査の分析等を踏まえ、今後に向けて地域と協議する。 ・対象別のモビリティ・マネジメントによる利用促進を図る。	・コミュニティバスの運行状況は、日数243日、乗車数15,883人、１日平均乗車人数65人であった。	・にの♡バス利用によるCO_2削減量
43	3-1 省資源・省エネルギー活動の促進、 3-2 自然エネルギーの活用	⑤駅前駐輪場の運営（利用者の利便性向上）	環境負荷の少ない交通手段（自転車）の利用を促進するため、駅周辺に整備した自転車駐輪場を利用者の利便性に配慮して運営する。	政策総務部防災安全課	・利用しやすい自転車駐車場の適正な維持管理とサービス向上により、利用者を維持し、環境負荷の少ない自転車利用の促進を図る。	・新型コロナウイルスの感染拡大により、自転車駐輪台数は減って66,200台（北口：32,999台、南口：29,561台、臨時：3,640台）、バイク駐車台数は11,534台であった。 ・昨年度課題の看板老朽化対策で新規看板を設置し、利便性が向上した。	・自転車駐車場利用延べ台数（自転車及び原付バイク）
44	3-1 省資源・省エネルギー活動の促進、 3-2 自然エネルギーの活用	⑥地球温暖化防止に関する教育	地球温暖化防止への関心を高めるため、温暖化対策についての教育を学校等と連携し、学びの場で行う。	都市部生活環境課	・町内小中学生の対象レベルに合わせ、興味を持って環境活動が実践されるような啓発を行う。	・新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、出前講座や子ども環境教室は実施できなかったが、幼児教育にも着眼し、町立百合が丘保育園において、試験的な環境教育を実施した。 ・小中学校と連携し、夏休み、冬休みの課題を実施した。	・環境教育の実施回数

評価						課題	対応	R03事業計画
達成状況評価				評価割合(100)		・導入にあたり、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う自動車の生産量低下の可能性があり、今後のエコカー導入に影響が及ぶ可能性がある。 ・軽バン、軽トラなどは、クリーンエネルギー自動車への移行が難しい。	・新車のエコカー調達が困難な場合は、短期の再リースを行う等の対応を検討する。	・３台の更新車両全てにエコカーを導入する。
R01 目標値	R02 目標値	R03 目標値	R04 目標値	達成状況評価	事業内容評価			
4台	5台	5台	14台	75	25			
R01 実績値	R02 実績値	R03 実績値	R04 実績値	×	×			
4台	7台							
R01 事業達成率	R02 事業達成率	R03 事業達成率	R04 事業達成率	事業達成率	事業内容達成率			
100%	100%			100%	100%			
				達成状況評価(A)	事業内容評価(B)			
事業内容評価				75%	25%			
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価	総合評価(A)＋(B)				
100%	100%			100%	A			
達成状況評価				評価割合(100)		・新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、利用実績が著しく悪化したことと、人を集める啓発活動(地区説明会等)が実施できないことが課題である。	・コミュニティバスは、各バス停や地区の利用状況を踏まえた利便性向上のためのルート改編を令和４年度を目指して検討する。 ・利用啓発は感染症の流行状況を見極めながら実施する。	・コミュニティバスの新規ルートおよび既存ルートの統廃合を含めたルート改編について検討する。 ・子どもおよび高齢者に対するバスの乗り方教室を実施する。
R01 目標値	R02 目標値	R03 目標値	R04 目標値	達成状況評価	事業内容評価			
15,512g	15,512g	15,512g	15,512g	50	50			
R01 実績値	R02 実績値	R03 実績値	R04 実績値	×	×			
11,816g	9,632g							
R01 事業達成率	R02 事業達成率	R03 事業達成率	R04 事業達成率	事業達成率	事業内容達成率			
76%	62%			62%	60%			
				達成状況評価(A)	事業内容評価(B)			
事業内容評価				31%	30%			
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価	総合評価(A)＋(B) コロナの影響あり				
80%	60%			61%	―			
達成状況評価				評価割合(100)		・施設の老朽化によって駐輪機材の故障が発生していることに加え、電動や子ども用座席付き等の近年販売されている自転車の一部では、駐輪機材に入らないこと等により、設置場所が不足し、利便性の低下が見込まれる。	・今年度に引き続き、機材、施設の修繕を行うとともに、機材撤去により平置き場スペースを増設することで、機材に入らない自転車の駐車スペースを確保し、利便性の向上を図る。	・利用しやすい自転車駐車場に向けて、適正な維持管理とサービス向上を図ることで、利用者を維持し、環境負荷の少ない自転車利用の促進に努める。
R01 目標値	R02 目標値	R03 目標値	R04 目標値	達成状況評価	事業内容評価			
92,000台	92,000台	92,000台	92,000台	50	50			
R01 実績値	R02 実績値	R03 実績値	R04 実績値	×	×			
79,080台	66,200台							
R01 事業達成率	R02 事業達成率	R03 事業達成率	R04 事業達成率	事業達成率	事業内容達成率			
86%	72%			72%	100%			
				達成状況評価(A)	事業内容評価(B)			
事業内容評価				36%	50%			
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価	総合評価(A)＋(B) コロナの影響あり				
100%	100%			86%	―			
達成状況評価				評価割合(100)		・環境に対する意識は、幼少期からの教育が大切なので、対象年齢に応じて啓発活動を実施していく必要がある。	・子どもたちの興味をひき、楽しんで学べるよう、対象年齢などを意識しながら、イベントや広報紙等を活用した環境教育の場を設定する。	・環境教育につながる場を多数用意し、参加者にはオリジナル缶バッジを配布する。 ・幼少期から興味をもって環境を学べるきっかけとなるよう、町PRキャラクターを用いて四コマ漫画を作成し、広報紙への掲載等を実施していく。
R01 目標値	R02 目標値	R03 目標値	R04 目標値	達成状況評価	事業内容評価			
2回	2回	2回	2回	50	50			
R01 実績値	R02 実績値	R03 実績値	R04 実績値	×	×			
2回	1回							
R01 事業達成率	R02 事業達成率	R03 事業達成率	R04 事業達成率	事業達成率	事業内容達成率			
100%	50%			50%	100%			
				達成状況評価(A)	事業内容評価(B)			
事業内容評価				25%	50%			
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価	総合評価(A)＋(B) コロナの影響あり				
100%	100%			75%	―			

No.	基本施策	取組み事業等	事業内容	担当課	R02事業計画	R02事業実績	数値指標
45	3-3　緑化や雨水利用などによる環境の安全	①建築物の緑化の推進	建物の温度上昇を抑制するため、公共施設などの建物に植物（グリーンカーテン）を設置するとともに、イベントやさまざまな広報媒体を通じて、町民への普及促進を図る。	都市部生活環境課	・町役場庁舎2階入口の2箇所の花壇に複数の樹種によるグリーンカーテンを設置するとともに、ホームページに生育状況を掲載する。	・例年どおり町役場庁舎2階入口の2箇所の花壇にグリーンカーテンを設置したが、より目にしてもらえるようアーチ状にグリーンカーテンを設置した。 ・また、ホームページ上に生育状況を掲載するとともに、地産地消を目的に「ともしびショップなのはな」において、収穫したゴーヤの食材利用をしてもらった。	・緑のカーテン設置箇所数
46	3-3　緑化や雨水利用などによる環境の安全	②開発行為等における緑化指導（要綱、指導、条例）	緑地面積を確保するため、「二宮町の開発事業における手続及び基準等に関する条例」及び「二宮町緑の保全及び緑化の推進に関する要綱」に基づき、開発行為完了後の緑化推進を指導する。	都市部都市整備課	・「二宮町の開発事業における手続及び基準等に関する条例」に基づき、開発事業事前協議書の提出者に対して緑化の指導を行う。	・令和2年度の開発申請件数は4件であり、すべての案件について「二宮町の開発事業における手続及び基準等に関する条例」に基づき、緑化の指導を行った。	・開発協議件数に対する指導件数割合
47	3-3　緑化や雨水利用などによる環境の安全	③花いっぱい運動の推進	町内の緑化及び町民の緑化意識の高揚を図るため、町内の公共施設等で花壇やプランター等への花の植栽を行う。	都市部都市整備課	・6、11月に花苗を各所に配布し、老人会等地域ボランティアによる植栽を実施する。	・６月の花いっぱい運動は新型コロナウイルスの感染拡大に伴い中止した。 ・11月12日に実施した植栽箇所数は25箇所（令和元年度より1箇所減）で、　パンジー(1,126株)、ビオラ(1,126株)を植えた。	・設置予定箇所に対する花の植栽割合
48	3-4　環境保全による安全なまちづくり	①側溝や集水桝の補修・清掃（冠水防止）	集中豪雨時の冠水防止対策により環境を保全するため、町民等と連携、側溝や集水枡の補修・清掃を行う。	都市部生活環境課 都市部都市整備課	・堆積の著しい道路側溝は清掃を実施する。また道路冠水の原因の一因であるグレーチングの詰まりは、町作業員にて上部清掃を適宜実施し、道路冠水を防止する。	・業者での側溝清掃(4件)、町作業員による側溝清掃やグレーチング上部の清掃等(55件)を実施した。	・町民等と連携した側溝や集水桝の補修・清掃件数

評価						課題	対応	R03事業計画
達成状況評価				評価割合(100)		・より多くの方にグリーンカーテンの存在や意義などを周知していく必要がある。	・引き続き、趣向をこらしながらホームページや広報紙を活用して、役場に来庁されない方へも積極的な周知を図る。	・町役場庁舎2階入口の2箇所の花壇にグリーンカーテンを設置し、昨年同様グリーンカーテンのアーチを作り、啓発を行う。 ・より目にしてもらえるよう、七夕の季節に合わせて地球温暖化防止にかかわる短冊をグリーンカーテンに飾る。
R01 目標値 2箇所	R02 目標値 2箇所	R03 目標値 2箇所	R04 目標値 2箇所	達成状況評価 50 ×	事業内容評価 50 ×			
R01 実績値 2箇所	R02 実績値 2箇所	R03 実績値	R04 実績値	事業達成率 100%	事業内容達成率 100%			
R01 事業達成率	R02 事業達成率	R03 事業達成率	R04 事業達成率					
100%	100%			達成状況評価(A) 50%	事業内容評価(B) 50%			
事業内容評価								
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価	総合評価(A)＋(B)				
100%	100%			100%	A			
達成状況評価				評価割合(100)		・緑化に関しては、開発協議の際に指導を行ない、完了時確認を行っているが、その後の維持管理は居住者となるため、緑化の維持管理について懸念される。	・公園緑地班と連携を図り、緑地の維持管理について広報紙等により意識向上を図る。	・「二宮町の開発事業における手続及び基準等に関する条例」に基づき、開発事業事前協議書の提出者に対して緑化の指導を行う。
R01 目標値 100%	R02 目標値 100%	R03 目標値 100%	R04 目標値 100%	達成状況評価 75 ×	事業内容評価 25 ×			
R01 実績値 100%	R02 実績値 100%	R03 実績値	R04 実績値	事業達成率 100%	事業内容達成率 100%			
R01 事業達成率	R02 事業達成率	R03 事業達成率	R04 事業達成率					
100%	100%			達成状況評価(A) 75%	事業内容評価(B) 25%			
事業内容評価								
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価	総合評価(A)＋(B)				
40%	100%			100%	A			
達成状況評価				評価割合(100)		・ゆめクラブや公園愛護会にご協力いただいているが、高齢化等により作業の実施が困難な地区、団体も発生している。	・ゆめクラブ等の会議で、意見交換等を行い、継続できる方法等について検討する。	・6、11月に花苗を各所に配布し、老人会等地域ボランティアによる植栽を実施する。
R01 目標値 100%	R02 目標値 100%	R03 目標値 100%	R04 目標値 100%	達成状況評価 75 ×	事業内容評価 25 ×			
R01 実績値 100%	R02 実績値 50%	R03 実績値	R04 実績値	事業達成率 50%	事業内容達成率 100%			
R01 事業達成率	R02 事業達成率	R03 事業達成率	R04 事業達成率					
100%	50%			達成状況評価(A) 38%	事業内容評価(B) 25%			
事業内容評価								
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価	総合評価(A)＋(B) コロナの影響あり				
100%	100%			63%	―			
達成状況評価				評価割合(100)		・町内全ての道路側溝を一斉に清掃することは困難であるため、これまでの対応経過や地区要望などの状況により、施工箇所を検討する必要がある。	・これまでの対応経過、地区要望などの状況や、担当職員の巡回などにより、堆積状況を把握し、適宜対応していく。	・堆積の著しい道路側溝を重点的に清掃しながら、道路冠水の原因の一因であるグレーチングの詰まりについては、町作業員にて上部清掃を適宜実施し、道路冠水を防止する。
R01 目標値 50件	R02 目標値 50件	R03 目標値 50件	R04 目標値 50件	達成状況評価 25 ×	事業内容評価 75 ×			
R01 実績値 43件	R02 実績値 59件	R03 実績値	R04 実績値	事業達成率 100%	事業内容達成率 80%			
R01 事業達成率	R02 事業達成率	R03 事業達成率	R04 事業達成率					
86%	100%			達成状況評価(A) 25%	事業内容評価(B) 60%			
事業内容評価								
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価	総合評価(A)＋(B)				
100%	80%			85%	B			

No.	基本施策	取組み事業等	事業内容	担当課	R02事業計画	R02事業実績	数値指標
49	3-4　環境保全による安全なまちづくり	②雨水浸透施設設置の指導	町内の自然環境の保全のため、「二宮町の開発事業における手続及び基準等に関する条例」に基づき、雨水浸透施設（屋根等に降った雨水を宅地内に浸透させる施設）の設置を指導する。	都市部都市整備課	・「二宮町の開発事業における手続及び基準等に関する条例」に基づき、開発事業事前協議書の提出者に対して排水の指導を行う。	・令和2年度の開発申請件数は4件であり、すべての案件について「二宮町の開発事業における手続及び基準等に関する条例」に基づき、排水の指導を行った。	・開発協議件数に対する指導件数割合
50	3-4　環境保全による安全なまちづくり	③狭あい道路等拡幅整備事業	町民の日常生活の利便増進及び災害時における安全を図るため、建築基準法第42条第2項等に基づく道路に対し、二宮町狭あい道路等拡幅整備要綱により、道路を整備する。	都市部都市整備課	・二宮町狭あい道路等拡幅整備要綱に基づき申請された案件の内、土地の所有権移転登記まで終了した箇所の工事を実施する。	・二宮町狭あい道路等拡幅整備要綱に基づき申請された案件の内、土地の所有権移転登記まで終了した箇所の工事を実施した。 ・令和2年度工事件数は6件、舗装工事等を実施した。	・二宮町狭あい道路等拡幅整備要綱に基づく申請に対しての工事実施率
51	3-5　快適な生活環境の向上	①地域美化活動の推進	地域美化活動の推進により快適な生活環境の向上を図るため、ごみ袋の配布、保険の加入等美化活動を行う個人・団体への支援を行う。	都市部生活環境課	・地域美化清掃活動に対し、ごみ袋の配布、ごみの回収、傷害保険などの手続きの支援を行う。 ・地域美化清掃協議書を提出してもらい、ごみ袋の配布枚数、ごみの処理方法について申請者と協議する。	・地域美化清掃活動に対し、ごみ袋の配布、ごみの回収、傷害保険などの手続きを行った。 ・令和2年度においては、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、地域環境推進員に、清掃活動を自粛するよう呼びかけたため、件数、参加人数ともに減少した。	・地域美化清掃の件数 ・地域美化清掃の参加人数
52	3-5　快適な生活環境の向上	②公害防止対策事業	公害の防止により快適な生活環境の向上を図るため、県、事業者等と連携し、町内各所で道路騒音や河川水質(健康項目)を測定するとともに、ホームページを通じて、測定結果を情報提供する。	都市部生活環境課	・騒音測定を実施する。 ・河川水質測定を実施する。 ・測定結果をホームページで公表する。	・騒音測定、河川水質測定を実施し、道路交通の騒音状況や河川の水質状況を把握した。 ・測定結果をホームページで公表し、町民へ周知した。 ・騒音測定については、全８検体（４地点×（昼間・夜間））全ての測定地点において、環境基準値を満たした。	・騒音測定地点数に対する測定値が基準値内の地点数割合 ・河川水質測定値点数に対する測定値が基準値内の地点数割合

評価						課題	対応	R03事業計画
達成状況評価				評価割合(100)		・雨水の排水について宅地内浸透処理の指導を行っているが、集中豪雨や台風では全て処理されず、道路への流出が懸念される。	・宅地内浸透処理のほか、側溝等の設置により開発地内での雨水流出抑制を指導していくとともに、想定外の降雨に対し、新たな手法や冠水対策を検討していく。	・「二宮町の開発事業における手続及び基準等に関する条例」に基づき、開発事業事前協議書の提出者に対して排水の指導を行う。
R01 目標値	R02 目標値	R03 目標値	R04 目標値	達成状況評価	事業内容評価			
100%	100%	100%	100%	75	25			
R01 実績値	R02 実績値	R03 実績値	R04 実績値	×	×			
100%	100%			事業達成率	事業内容達成率			
R01 事業達成率	R02 事業達成率	R03 事業達成率	R04 事業達成率	100%	100%			
100%	100%			達成状況評価(A)	事業内容評価(B)			
事業内容評価				75%	25%			
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価	総合評価(A)＋(B)				
40%	100%			100%	A			
達成状況評価				評価割合(100)		・建築確認申請に伴う受動的な事業であるため、事業の進捗は年度ごとにバラつきが生じる。	・原則は当該年度で実施していくが、事業内容によっては２箇年度で計画し、提出された申請を適切に処理する。	・二宮町狭あい道路等拡幅整備要綱に基づき申請された案件の内、土地の所有権移転登記まで終了した箇所の工事を実施する。
R01 目標値	R02 目標値	R03 目標値	R04 目標値	達成状況評価	事業内容評価			
100%	100%	100%	100%	75	25			
R01 実績値	R02 実績値	R03 実績値	R04 実績値	×	×			
100%	100%			事業達成率	事業内容達成率			
R01 事業達成率	R02 事業達成率	R03 事業達成率	R04 事業達成率	100%	100%			
100%	100%			達成状況評価(A)	事業内容評価(B)			
事業内容評価				75%	25%			
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価	総合評価(A)＋(B)				
100%	100%			100%	A			
達成状況評価				評価割合(100)		・地域美化清掃の規模が大きくなったり、回数が増えるほど、草葉の回収量も増えてしまうため、出来る限り枯らしてから出してもらう等の工夫が必要である。 ・新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、地域美化清掃の実施回数の減少、実施規模の縮小が見込まれる。	・地域美化清掃協議書の提出時に出来る限り、草葉を枯らして水分量を減らしてから出してもらうようにしたり、堆肥化してもらえるようお願いする。	・地域美化清掃活動に対し、ごみ袋の配布、ごみの回収、傷害保険などの手続きの支援を行う。
R01 目標値	R02 目標値	R03 目標値	R04 目標値	達成状況評価	事業内容評価			
60件 6,900人	60件 6,900人	60件 6,900人	60件 6,900人	50	50			
R01 実績値	R02 実績値	R03 実績値	R04 実績値	×	×			
53件 6,309人	43件 3,285人			事業達成率	事業内容達成率			
R01 事業達成率	R02 事業達成率	R03 事業達成率	R04 事業達成率	60%	80%			
90%	60%			達成状況評価(A)	事業内容評価(B)			
事業内容評価				30%	40%			
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価	総合評価(A)＋(B) コロナの影響あり				
80%	80%			70%	―			
達成状況評価				評価割合(100)		・今年度の道路騒音測定では、全ての地点において、測定値が環境基準値を下回る結果となったが、例年、交通量が多い路線では、環境基準値を超過してしまう地点が出てくる。	・道路交通騒音測定、河川水質測定を継続的に実施し、測定結果を注視していくとともに、測定値が環境基準値を超過してしまった場合は、各関係機関と連携を図り、改善に向けた協議を行う。	・騒音測定を実施する。 ・河川水質測定を実施する。 ・測定結果をホームページで公表する。
R01 目標値	R02 目標値	R03 目標値	R04 目標値	達成状況評価	事業内容評価			
100% 100%	100% 100%	100% 100%	100% 100%	75	25			
R01 実績値	R02 実績値	R03 実績値	R04 実績値	×	×			
75% 92%	100% 96%			事業達成率	事業内容達成率			
R01 事業達成率	R02 事業達成率	R03 事業達成率	R04 事業達成率	98%	60%			
84%	98%			達成状況評価(A)	事業内容評価(B)			
事業内容評価				74%	15%			
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価	総合評価(A)＋(B)				
60%	60%			89%	B			

No.	基本施策	取組み事業等	事業内容	担当課	R02事業計画	R02事業実績	数値指標
53	3-5　快適な生活環境の向上	③屋外燃焼行為による被害の防止	屋外燃焼行為による被害の防止により快適な生活環境の向上を図るため、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」及び「神奈川県生活環境の保全等に関する条例」に基づき、違反者に対し燃焼行為の中止を指導する。	都市部生活環境課	・廃棄物処理法及び県条例に違反して屋外燃焼行為を行っている違反者に指導をおこない燃焼行為を中止させる。 ・廃棄物処理法及び県条例による屋外燃焼行為の禁止に関するPRを行う。	・廃棄物処理法及び県条例に違反して屋外燃焼行為を行っている違反者に指導をおこない燃焼行為を中止させた。 ・廃棄物処理法及び県条例による屋外燃焼行為の禁止に関する周知啓発を広報紙及び町ホームページで行った。	・苦情件数に対する焼却行為の中止件数割合

<table>
<tr><th colspan="6">評価</th><th>課題</th><th>対応</th><th>R03事業計画</th></tr>
<tr><td colspan="4">達成状況評価</td><td colspan="2">評価割合(100)</td><td rowspan="9">・例年、公害苦情件数の中でも、屋外燃焼行為に関する苦情件数の占める割合が大きくなっている。
・苦情が入っても、既に屋外燃焼行為が終わってしまった後等、場所が特定できないことがある。</td><td rowspan="9">・屋外燃焼行為は法令違反となっているため、原因者に屋外燃焼行為を中止させ再度行わないよう指導を行い、再発防止に努める。
・広報紙等で屋外燃焼行為の禁止に関する周知啓発を行う。</td><td rowspan="9">・廃棄物処理法及び県条例に違反して屋外燃焼行為を行っている違反者に指導をおこない、燃焼行為を中止させる。
・廃棄物処理法及び県条例による屋外燃焼行為の禁止に関する周知啓発を広報紙等で行う。</td></tr>
<tr><td>R01
目標値
100人</td><td>R02
目標値
100人</td><td>R03
目標値
100人</td><td>R04
目標値
100人</td><td>達成状況
評価
50
×
事業
達成率
100%</td><td>事業内容
評価
50
×
事業内容
達成率
60%</td></tr>
<tr><td>R01
実績値
100人</td><td>R02
実績値
100人</td><td>R03
実績値</td><td>R04
実績値</td></tr>
<tr><td>R01
事業達成率</td><td>R02
事業達成率</td><td>R03
事業達成率</td><td>R04
事業達成率</td></tr>
<tr><td>100%</td><td>100%</td><td></td><td></td><td>達成状況
評価(A)
50%</td><td>事業内容
評価(B)
30%</td></tr>
<tr><td colspan="4">事業内容評価</td><td colspan="2">総合評価(A)＋(B)</td></tr>
<tr><td>R01
事業内容評価</td><td>R02
事業内容評価</td><td>R03
事業内容評価</td><td>R04
事業内容評価</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>60%</td><td>60%</td><td></td><td></td><td>80%</td><td>B</td></tr>
</table>